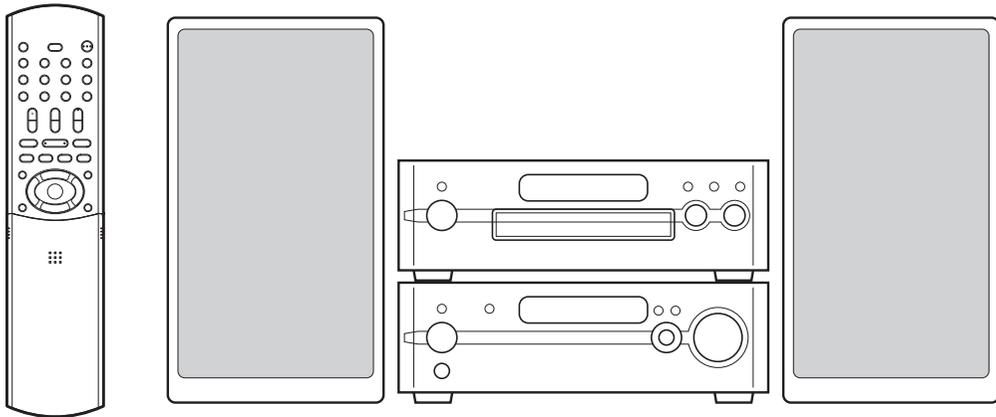
取扱説明書

ＤＶＤプレーヤー
型名 XV-EXA10

コンパクトコンポーネントシステム
型名 EX-A10

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に３～５ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1403-001B

もくじ

XV-EXA10 のマークが付いている項目は、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。

はじめに

接続 / 準備

基本操作

ラジオを聞く

DVD/CD を再生する XV-EXA10

他のオーディオ機器の音声を聞く

タイマー

ご参考に

安全上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止　水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)
  すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

警告

交流 100V(ボルト) 以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから 10cm 以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意

3 年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。

万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Ｄｏｌｂｙ、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
- dts、DTS および DTS 2.0+DIGITAL OUT は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ビデオのロゴは商標です。
- 「Official DivX Certified™ product」、「Plays DivX® 5, DivX® 4, DivX® 3, and DivX® VOD video content (in compliance with DivX Certified™ technical requirements)」、「DivX, DivX Certified」および関連するロゴは、DivXNetworks 社の商標であり、許可を得て使用しています。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間
- けい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所

■ご注意

- 本機の使用環境温度は、5 ℃ ～ 35 ℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- このようなときは、電源を「入」にしたまま約１～２時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

■ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ディスクトレーの掃除

ディスクトレーの清掃は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を使って、表面を傷つけないように、汚れを軽く拭き取ってください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

付属品

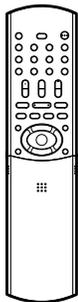
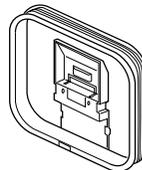
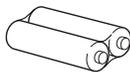
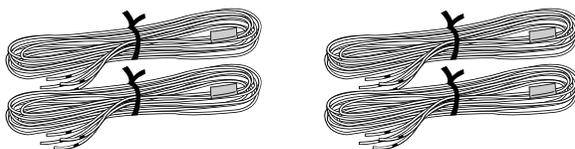
レシーバーとスピーカーの箱 (EX-A10) には次の付属品が同梱されています。
すべてが揃っていることをお確かめください。

リモコン (1 個)

RM-SEEXA10

単 3 型乾電池 (2 本)
(リモコン動作確認用)

FM 簡易型アンテナ (1本)

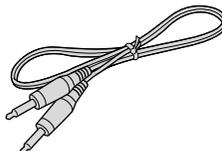
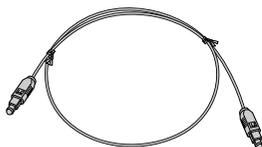
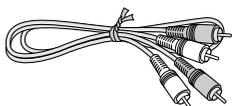
AM ループアンテナ (1個)

スピーカーコード (4 本)

DVD プレーヤーの箱 (XV-EXA10) には次の付属品が同梱されています。
すべてが揃っていることをお確かめください。

オーディオコード (1 本)

光デジタルコード (1 本)

シンクロコード (1 本)

ビデオコード (1 本)

■ご注意

- 光デジタルコードは折り曲げないでください。断線の原因となります。

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本機のレシーバーおよび DVD プレーヤーに同じマークのボタンがある場合には、どちらのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書の説明とは異なる操作でも働く機能があります。
- XV-EXA10 のマークが付いている項目やページは、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。
- どの種類のディスクで操作できるのかを、下記のマークでお知らせしています。

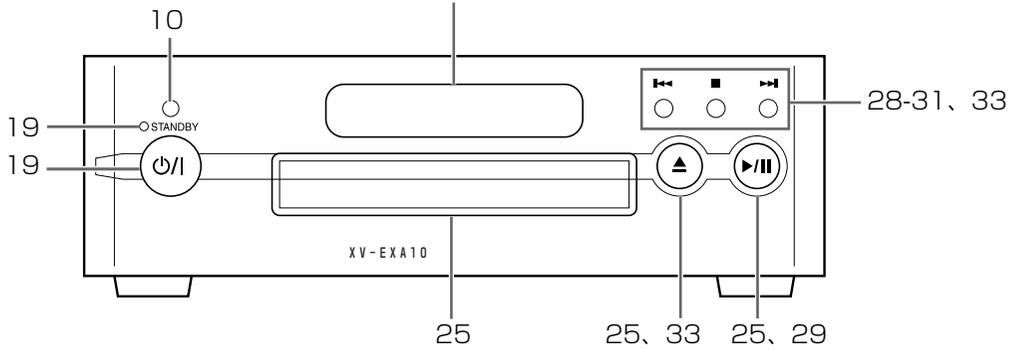
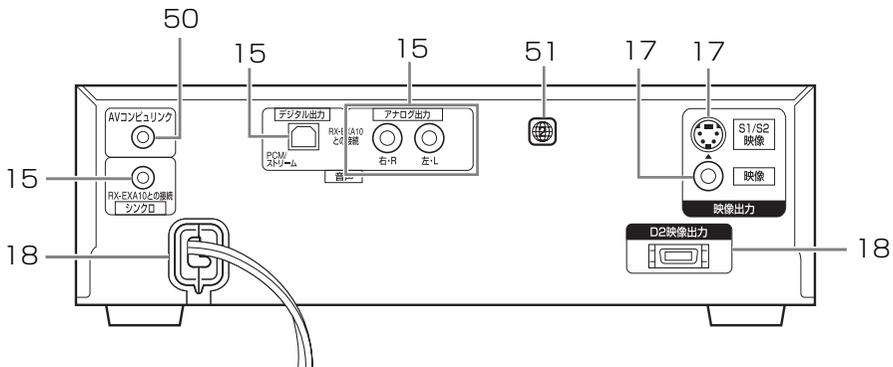
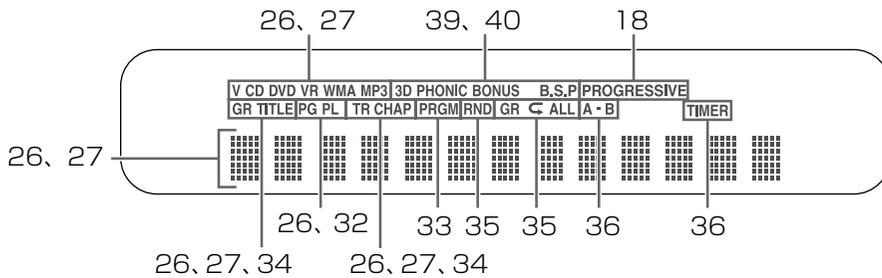
DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA
JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2

- 「DVD VR」は、DVD VR フォーマットで記録された DVD のことです。
- 「VCD」は「ビデオ CD」の略です。
- 「SVCD」は「スーパービデオ CD」の略です。
- 「ASF」ディスクは、ASF フォーマットで記録されたディスクのことです。

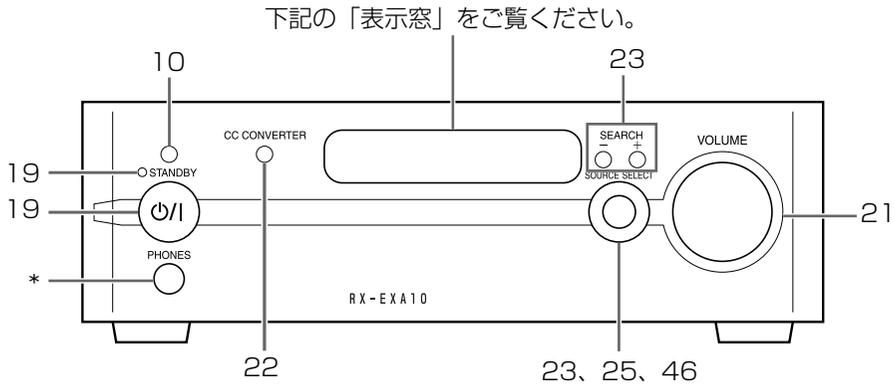
各部の説明ページ

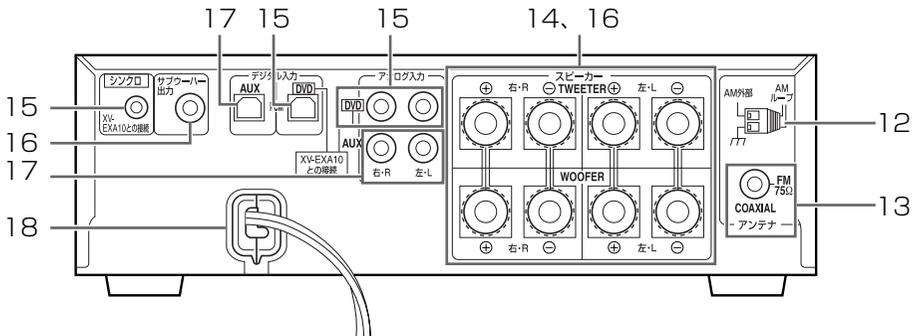
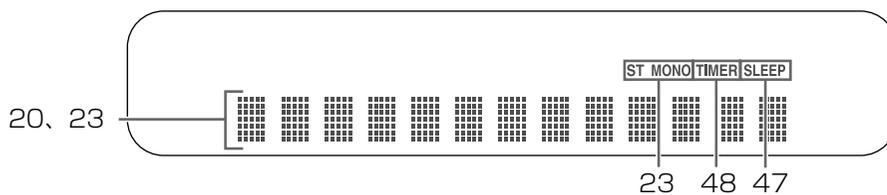
数字は説明しているページ番号です。

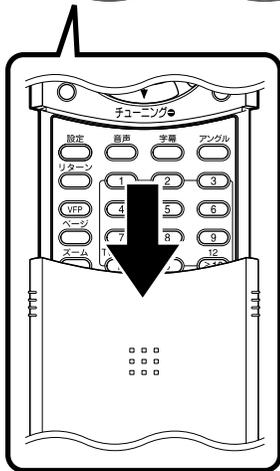
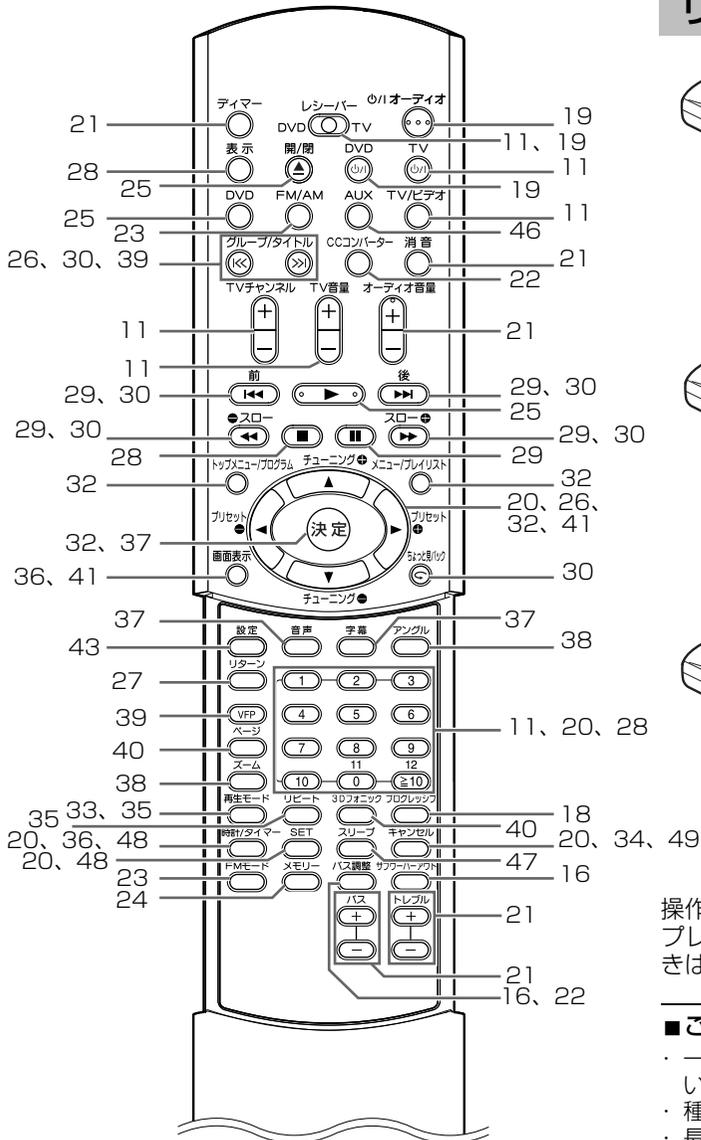
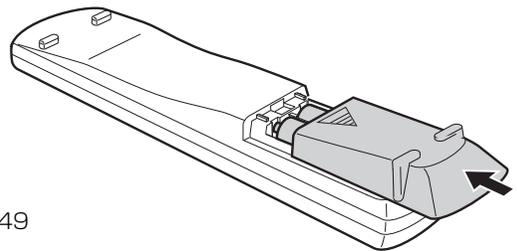
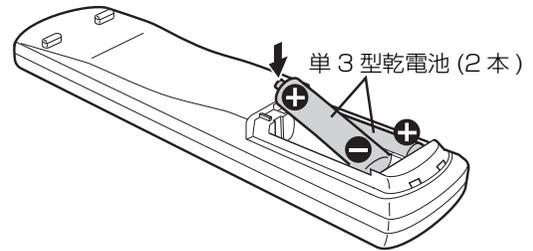
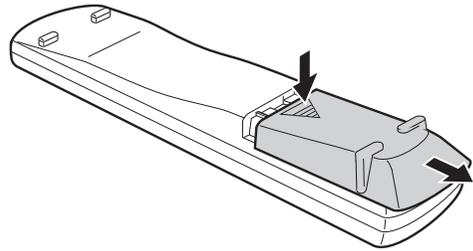
DVD プレーヤー（XV-EXA10） XV-EXA10

前面

背面

表示窓

数字は説明しているページ番号です。

レシーバー（RX-EXA10）

前面

*ステレオプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーから音が出なくなります。

背面

表示窓

リモコンについて

数字は説明しているページ番号です。

リモコンに電池を入れる

操作範囲が狭くなったり、レシーバーまたは DVD プレーヤーに近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

■ご注意

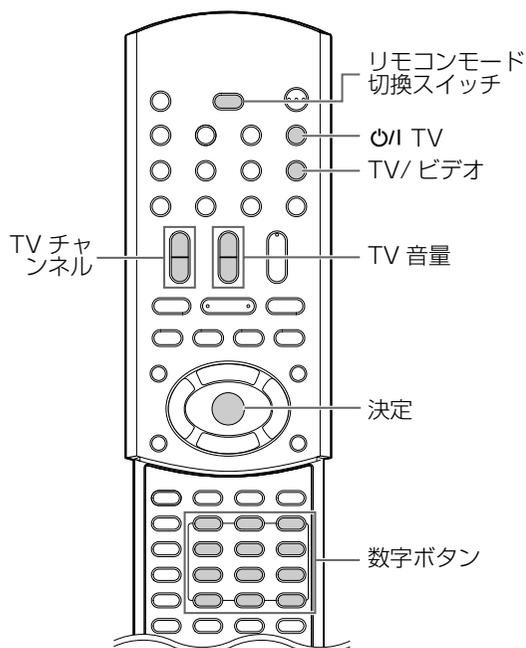
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、レシーバーおよび DVD プレーヤーの正面に向けて操作してください。極端に斜めから操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでテレビを操作することができます。

テレビのメーカー (メーカーコード) を設定する

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を [TV] にする**

レシーバー DVD TV

2 **[⏻/I TV] を押し続ける**

・ 手順 4 が終わるまで押したままにしてください。

3 **[決定] を押して離す**

4 **数字ボタン (1-9、0) を押す**

例：
08：0 → 8
12：1 → 2
20：2 → 0　の順に押します。

2 つ以上の番号 (メーカーコード) があるメーカーの場合、順番に試してみて正しく動作する番号を選んでください。

（網掛け）：お買い上げ時の設定

メーカー	コード
ビクター	01 、02、03
アイワ	28、29
NEC	15
コルティナ	31、32、33、34
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
ソニー	11、12、13
東芝	14
パイオニア	16
日立	17、18
フィリップス	30
富士通ゼネラル	09、10
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27

お知らせ

・ メーカーコードは予告なく変更されることがあります。上記のメーカー製テレビでも操作できない場合があります。

5 **[⏻/I TV] を離す**

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。

ボタン		操作
TV ⏻/I		電源を「入」/「切」する
TVチャンネル +/−		チャンネルを変える
TV音量 +/−		音量を調節する
1 ～ 10 / 11 (0) / 12 (≧10)	レシーバー DVD TV *1	チャンネル(1 ～ 12)を選ぶ
TV/ビデオ		テレビとビデオ入力を切り換える

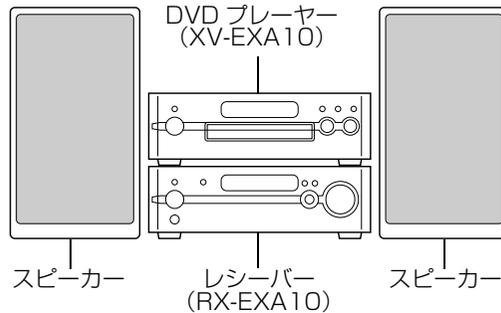
*1 あらかじめリモコンモード切換スイッチの位置を [TV] にしておいてください。

お知らせ

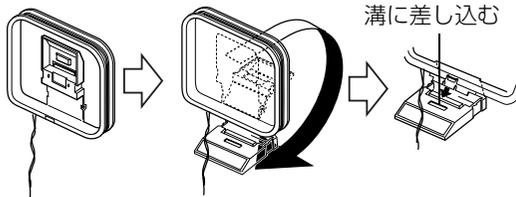
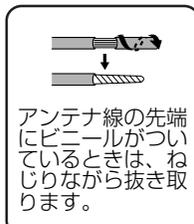
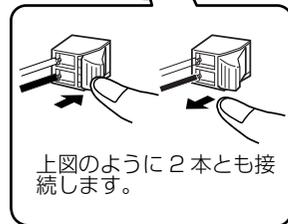
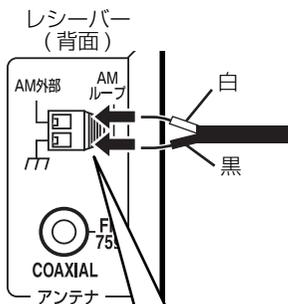
・ リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

接続 / 準備

接続が終わるまで電源は入れないでください。

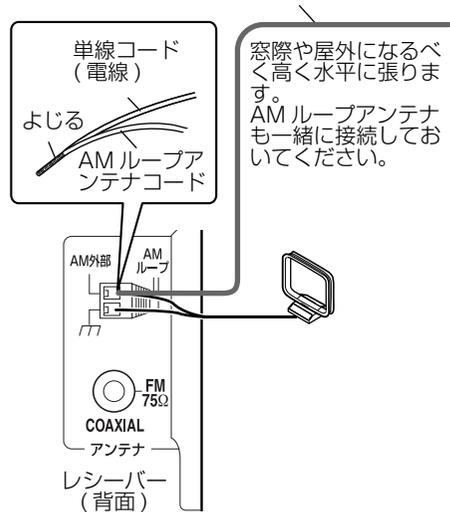
標準的な設置

アンテナを接続する

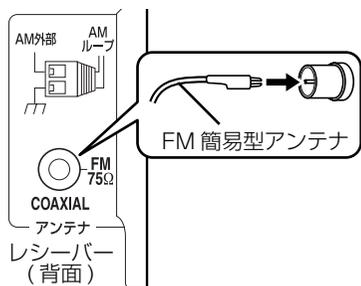
AM ループアンテナ (付属品) を接続する

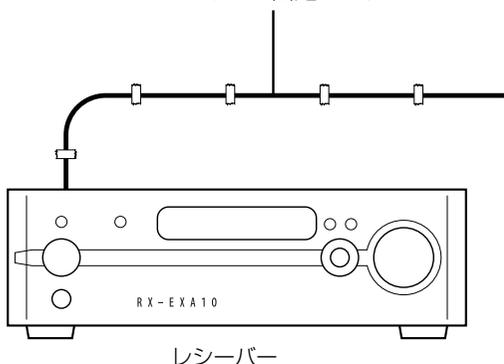
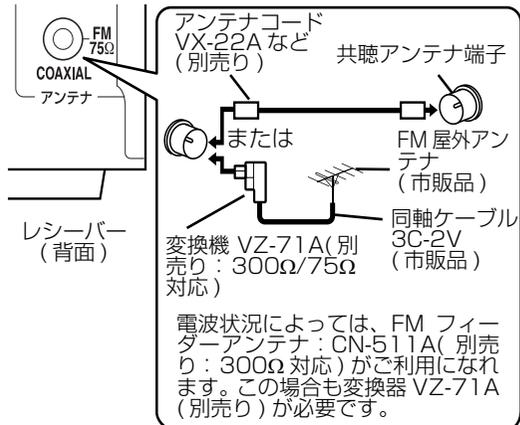
1 AM ループアンテナを組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続した AM ループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
AM ループアンテナは、レシーバーからできるだけ離して置いてください。

・ AM ループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

■ 付属の AM ループアンテナではうまく受信できないとき

単線コード (電線) : 3 ～ 5m(市販品)

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください (「ラジオを聞く」をご覧ください。(☞ 23 ページ))。

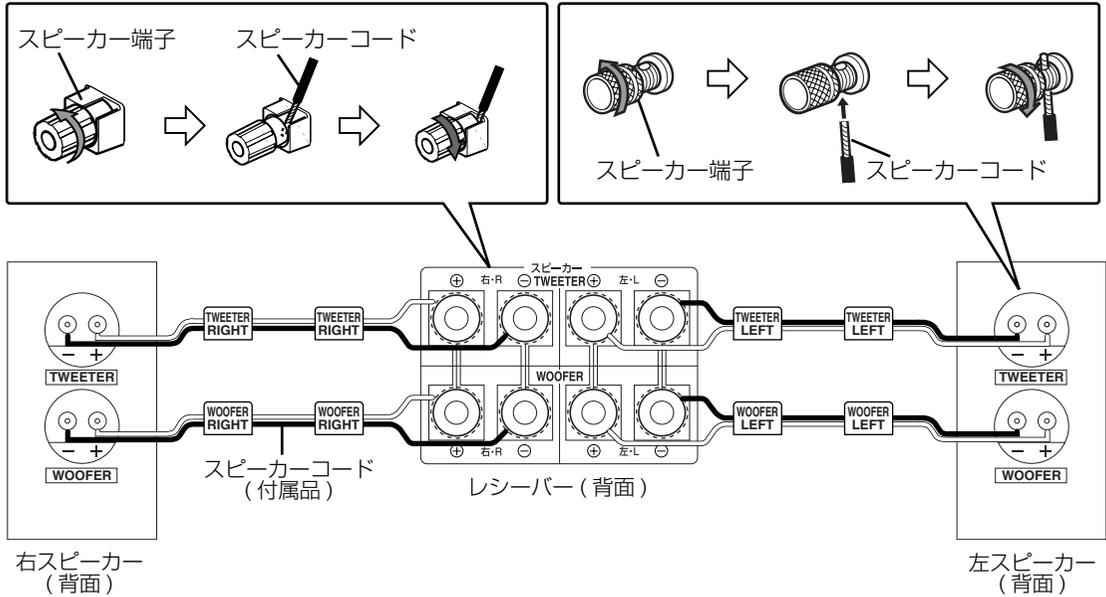
FM アンテナ (付属品) を接続する

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

レシーバー

■ 付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください（「ラジオを聞く」をご覧ください。(☞ 23 ページ))。

スピーカーを接続する

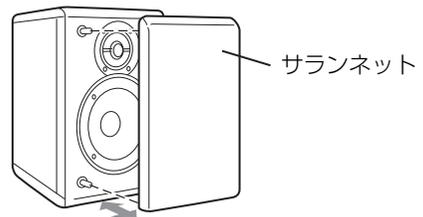
スピーカーには左右の区別はありません。

スピーカーコードを接続する前に、先端のビニールをねじりながら抜き取ります。

- 上図のとおりに接続してください。誤った接続は故障の原因となります。
- 付属のスピーカーは RX-EXA10 専用です。他の機器に接続すると故障の原因となります。

■ご注意

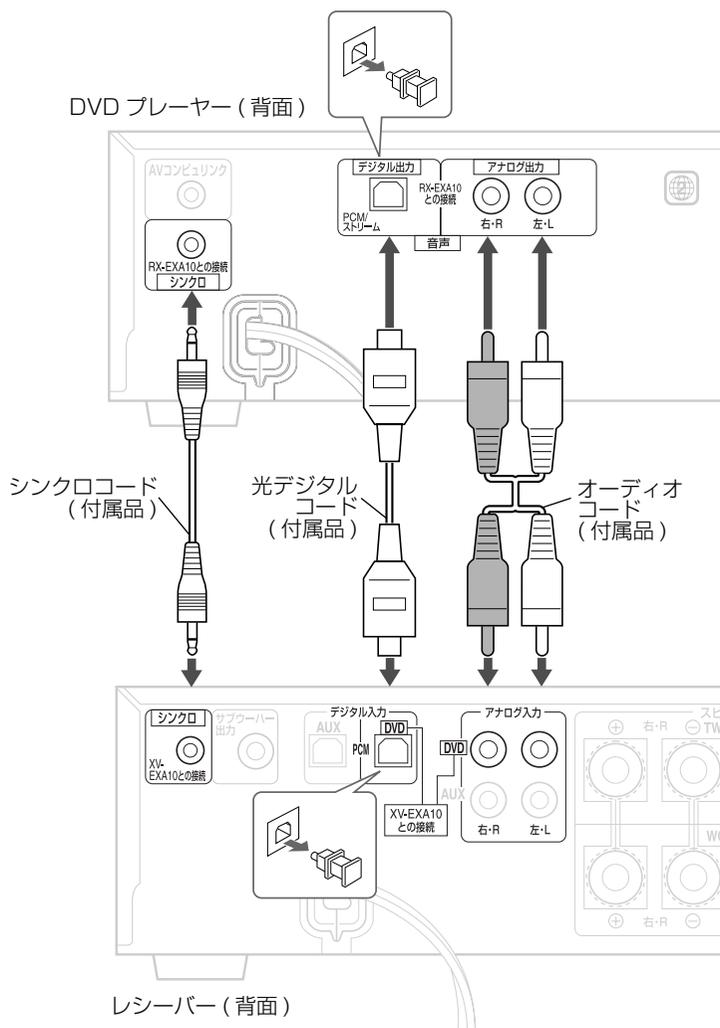
- スピーカー端子の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。レシーバーの故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、レシーバーおよびスピーカーの故障の原因となります。
- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機のスピーカーは防磁設計 (JEITA 仕様) になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを「切」にしてから設置してください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを十分に離してください。
  3. テレビの主電源スイッチは、切ってから 30 分程度待ってから「入」にしてください。

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。

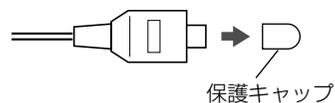
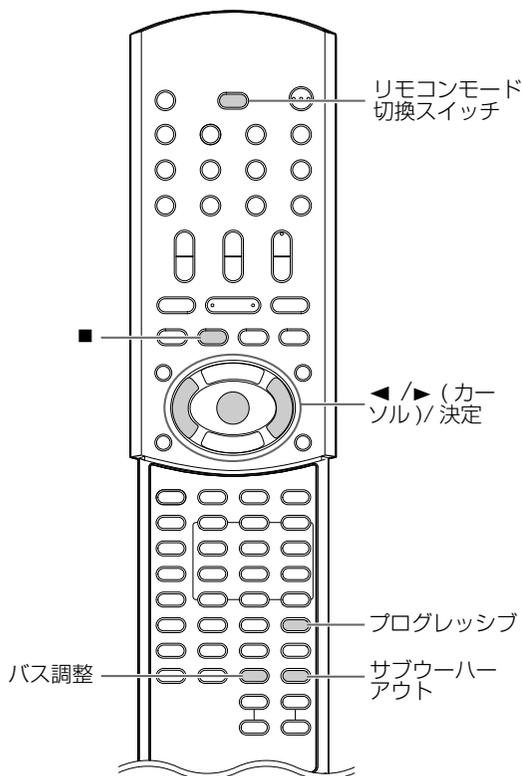
サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

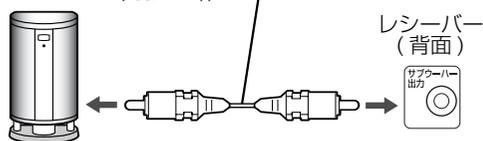
- 十分な冷却効果を得るために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm 以上間隔をあけてください。

レシーバーと DVD プレーヤーを接続する　XV-EXA10

付属のコードは 3 本とも接続してください。

■ご注意
- 光デジタルコードは折り曲げないでください。断線の原因となります。

お知らせ
- XV-EXA10 以外の DVD プレーヤーをお使いになるときは、光デジタルコードとオーディオコードを上図と同じように接続してください。シンクロコードは使いません。

光デジタルコードを接続する前に、先端の保護キャップを取り外します。

他の機器を接続する

サブウーハーを接続する

アンプ内蔵サブウーハー (別売り) を接続すると、より迫力のある重低音がお楽しみいただけます。詳しくは、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

サブウーハーから音を出したいときは、リモコンの [サブウーハーアウト] を押してレシーバーの表示窓に「S. WOOFER ON」を表示させてください。押すごとに「S. WOOFER ON」または「S. WOOFER OFF」に切り換わります。

お知らせ

・「S. WOOFER ON」にすると、左右のスピーカーからの低音が自動で小さくなり、低音は主にサブウーハーで再生します。

他のスピーカーを接続する

本機以外のスピーカーを接続するときは、下記の操作をしてください。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 スピーカーを、レシーバーの [スピーカー WOOFER 右・R]/[スピーカーWOOFER 左・L] 端子に接続する

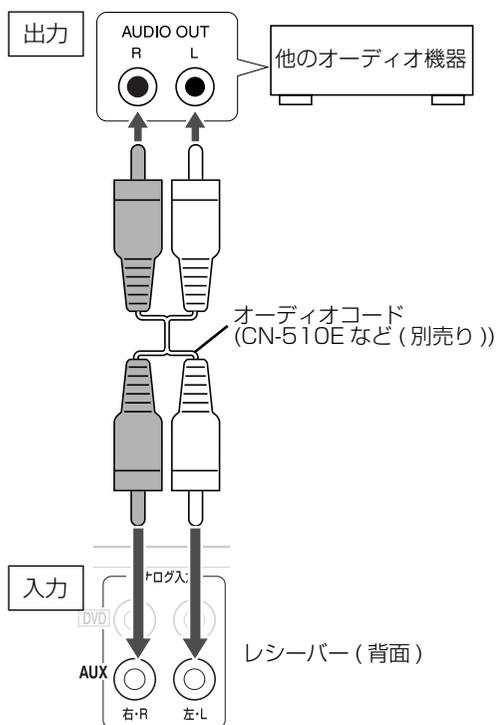
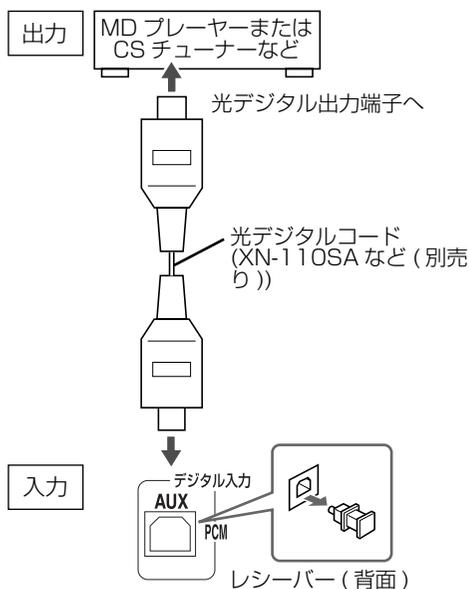
3 [バス調整] を2秒以上押し続ける

レシーバーの表示

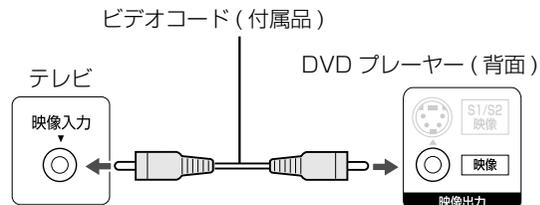
```
Single Amp
```

お知らせ

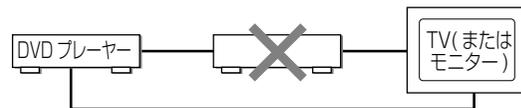
・[スピーカーTWEETER 右･R] 端子と [スピーカーTWEETER 左・L] 端子から音声信号は出力されません。
・本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、6Ω ～ 16Ω です。
・付属のスピーカーをレシーバーに接続するときは、もう一度リモコンの [バス調整] を 2 秒以上押して、「Bi-Amp」をレシーバーの表示窓に表示させてください。

他のオーディオ機器を接続する

光出力端子付きのデジタル機器と接続する

テレビを接続する XV-EXA10

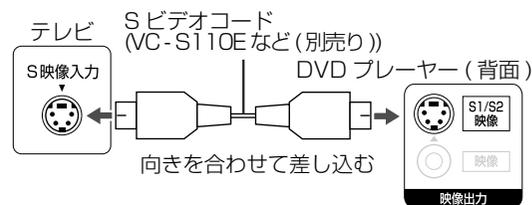
テレビと DVD プレーヤーを、下記のいずれかの方法で接続します。

ビデオコード（付属品）で接続する

このあと、映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース) に設定してください。(「映像信号方式を設定する」(☞ １８ページ) をご覧ください。)

■ご注意

- 本機の DVD プレーヤーとテレビ (またはモニター) は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。

- 本機の DVD プレーヤーとビデオデッキ内蔵テレビ (テレビデオ) をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

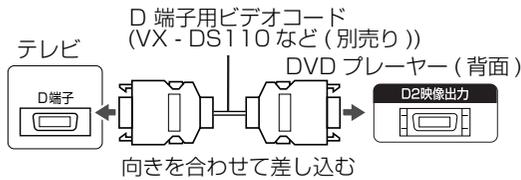
S ビデオコードで接続する

付属のビデオコードよりもきれいな映像をお楽しみいただけます。

このあと、映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース) に設定してください。(「映像信号方式を設定する」(☞ １８ページ) をご覧ください。)

お知らせ

- 本機の S 映像出力端子は、S1 および S2 映像信号に対応しています。S 映像信号にフルモード (縦長の映像) を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビが S1 または S2 映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

D 端子用ビデオコードで接続する

S ビデオコードよりも、さらにきれいな映像をお楽しみいただけます。

このあと、お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

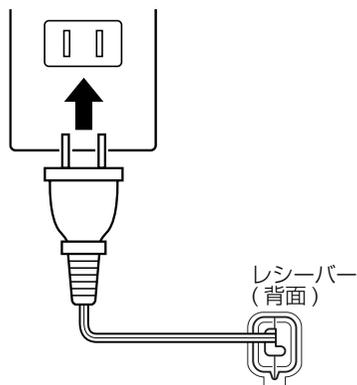
- D1端子のときは、「INTERLACE」(インターレース)に設定してください。
- D2 ～ D4 端子のときは、「PROGRESSIVE」(プログレッシブ) に設定してください。
(右記の「映像信号方式を設定する」をご覧ください。)

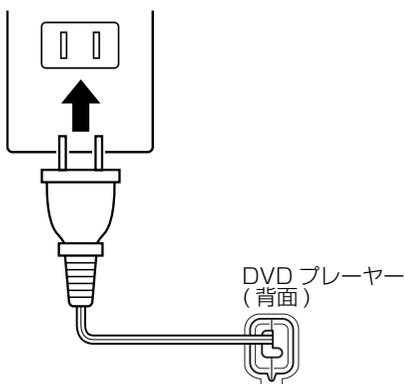
■ご注意
- S ビデオコード、D 端子用ビデオコードはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

お知らせ
- 本機の D 映像端子は D2 信号まで対応します。
- 本機は、D1 ～ D4 映像入力を持つテレビと接続できます。

電源コードを接続する

レシーバー

家庭用コンセント (AC100V、50Hz/60Hz)

DVD プレーヤー XV-EXA10

家庭用コンセント (AC100V、50Hz/60Hz)

- 電源コードは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- レシーバーおよびDVDプレーヤーの[STANDBY]ランプが点灯します。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が 1 分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

映像信号方式を設定する

XV-EXA10

お使いのテレビに合わせて映像信号方式を選びます。

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする**

レシーバー DVD TV

2 **ディスクが停止していることを確かめる (再生中のときは、■ を押して停止させる)**

3 **[プログレッシブ] を押す**

- 現在の映像信号方式が点滅します。

DVD プレーヤーの表示

DVD
INTERLACE

4 **◄、►(カーソル) を押して、テレビに合った映像方式を選ぶ**

- 「INTERLACE」(インターレース) を選ぶと、「PROGRESSIVE」(プログレッシブ) 時の半分の走査線を交互に表示します。従来の映像方式です。
- 「PROGRESSIVE」を選ぶと、一度にすべての走査線を表示します。「INTERLACE」よりも高精細な映像を再現します。

5 **[決定] を押す**

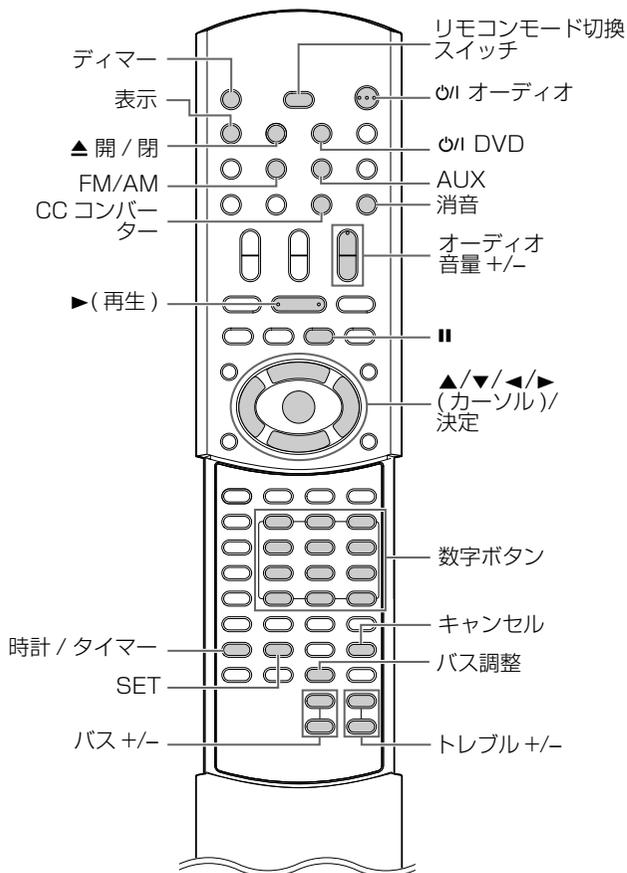
DVD プレーヤーの表示

「PROGRESSIVE」(プログレッシブ) 時に表示されます。(「INTERLACE」(インターレース) 時は非表示です。)

基本操作

(XV-EXA10) のマークが付いている項目は、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。

DVD プレーヤー

レシーバー

電源を入れる / 切る

DVD プレーヤー (XV-EXA10)

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [⏻/I DVD]（またはDVDプレーヤーの ⏻/I ）を押す

- DVD プレーヤーの電源が入り、[STANDBY] ランプが消灯します。
- 電源を切るときは、[⏻/I DVD] をもう一度押してください。
- 電源が「切」のときに、次のいずれかを押したときも DVD プレーヤーの電源が入ります。
  - リモコンの [DVD] または [▲ 開 / 閉]
  - DVD プレーヤーの ▲ または ►/II

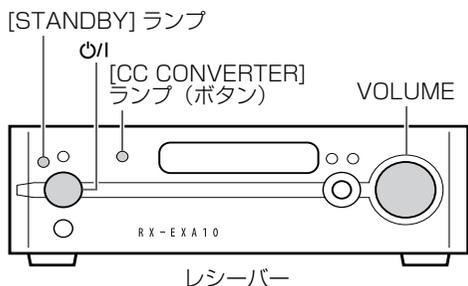
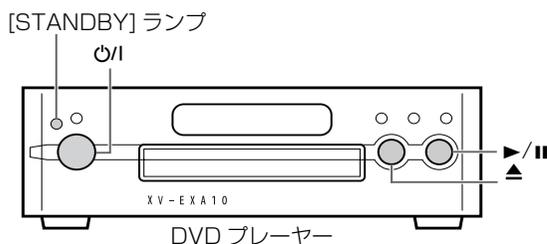
  このとき、それぞれのボタンに割り当てられている機能も働きます。
  （たとえば、ディスクが入っている状態で ►/II を押すと、再生が自動的に始まります。）

レシーバー

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [⏻/I オーディオ]（またはレシーバーの ⏻/I ）を押す

- レシーバーの電源が入り、[STANDBY] ランプが消灯します。
- 電源を切るときは、[⏻/I オーディオ]をもう一度押してください。
- 電源が「切」のときに、次のいずれかを押したときもレシーバーの電源が入ります。
  - リモコンの [DVD]、►（再生）、[FM/AM] または [AUX]
  - DVD プレーヤーの ►/II

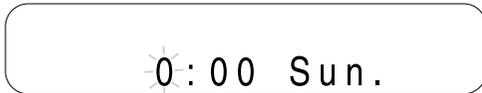
  このとき、それぞれのボタンに割り当てられている機能も働きます。

時計を合わせる

レシーバーを操作します。
レシーバーの電源が「入」/「切」どちらのときでも、操作できます。
例：
時計を水曜日の 10 時 30 分に合わせるとき

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を［レシーバー］にする**

2 **［時計 / タイマー］を押す**

レシーバーの表示

```
0:00 Sun.
```

3 **◄ または ►（カーソル）を押して「時」を合わせる**

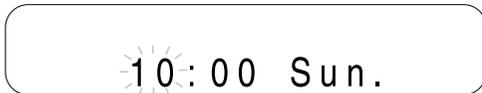
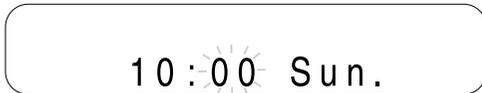
- 押し続けると連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。右記の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

レシーバーの表示

```
10:00 Sun.
```

4 **[SET] を押す**

レシーバーの表示

```
10:00 Sun.
```

5 **◄ または ►（カーソル）を押して「分」を合わせる**

- 押し続けると連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。

6 **[SET] を押す**

7 **◄ または ►（カーソル）を押して「曜日」を合わせる**

- 押し続けると連続して変わります。

レシーバーの表示

```
10:30 Wed.
```

- それぞれ次の曜日の略です。
  Sun.→Sunday（日曜日）
  Mon.→Monday（月曜日）
  Tue.→Tuesday（火曜日）
  Wed.→Wednesday（水曜日）
  Thu.→Thursday（木曜日）
  Fri.→Friday（金曜日）
  Sat.→Saturday（土曜日）

8 **[SET] を押す**

- 合わせた「分」の 0 秒から時計が動きはじめます。

お知らせ

- 操作の途中で［キャンセル］を押すと前の手順に戻れます。
- 本機のレシーバーの時計は 24 時間表示です。
- 月に 1 分程度のズレを生じます。
- レシーバーの電源コードをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたとき、時計の設定は約 1 分間保存されます。
- 「DISPLAY OFF」が選ばれているとき、時計を合わせることはできません。（「レシーバーの表示を消灯する」（☞ 21 ページ）をご覧ください。）

時計を合わせ直すには

［時計 / タイマー］を 2 回押して時計を表示させ、手順 3 から操作します。

使用中に時計を表示させるには

［表示］を押します。

- 詳しくは、28 ページ「表示窓の表示を切り換える」をご覧ください。

数字ボタンの使い方

例：

5： (5)
15： (≧10) → (1) → (5)
150： (≧10) → (≧10) → (1) → (5) → (0)

ディマー XV-EXA10

表示窓の明るさを、レシーバーと DVD プレーヤーそれぞれに設定することができます。

■ **レシーバー /DVD プレーヤーの電源が「入」のとき**

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] または [DVD] にする

レシーバーを操作したいとき　DVD プレーヤーを操作したいとき

2 [ディマー] をくり返し押す

・[ディマー] を押すごとに、表示窓の明るさが下記のように切り換わります。

→ DIMMER 1 → DIMMER 2 → DIMMER AUTO → DIMMER OFF →

・「DIMMER AUTO」は下記のように動作します。(DVD プレーヤー・レシーバーとも)
- 通常は「DIMMER　OFF」として動作します。
- DVD ビデオ、VCD など映像が記録されているディスクの再生中は自動的に「DIMMER 2」として動作します。

レシーバーの表示を消灯する

レシーバーの電源が「切」のときにレシーバーの表示を消灯することができます。

■ **レシーバーの電源が「切」のとき**

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [ディマー] を押す

・[ディマー] を押すごとに、レシーバーの設定が切り換わります。

DISPLAY ON ←→ DISPLAY OFF

音量を調節する

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [オーディオ音量 +]/[オーディオ音量 –] を押す

・レシーバーの [VOLUME] を回しても調整できます。

一時的に消音する

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [消音] を押す

・スピーカー、ヘッドホンおよびサブウーハーから音が出なくなります。
・もう一度 [消音] を押すともとの音量に戻ります。電源を入れ直したときも、もとの音量に戻ります。

高低音のレベルを調整する

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 低音：[バス +]/[バス –] を押す
高音：[トレブル +]/[トレブル –] を押す

お知らせ

・低音については、２２ページの「低音を調整する (バス調整)」と併せて、お好みの音質に調整してください。

リモコンのボタンの位置は
19 ページをご覧ください。

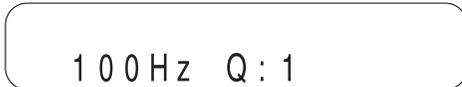
低音を調整する (バス調整)

内蔵アンプの低域特性 (バス周波数、Q[Quality factor]) を調整することにより、お好みの低音にすることができます。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [バス調整] を押す

レシーバーの表示

```
100Hz Q:1
```

3 表示が点滅している間に、◄ または ►(カーソル) を押してバス周波数を選ぶ

- 「100Hz」、「120Hz」または「140Hz」から選ぶことができます。
- お買い上げ時の設定は「100Hz」です。お好みの低音になるように数値を選んでください。

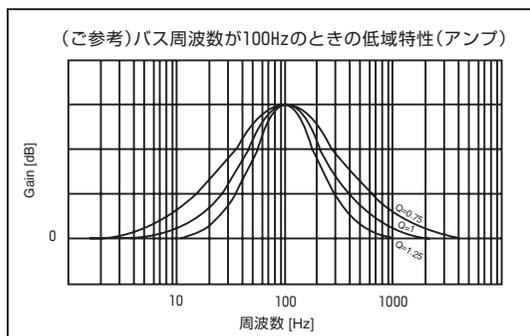
4 表示が点滅している間に、▲ または ▼(カーソル) を押して表示窓から「Q」の値を選ぶ

- 「0.75」、「1」または「1.25」から選ぶことができます。
- お買い上げ時の設定は「1」です。お好みの低音になるように数値を選んでください。

5 [決定] を押す

- 選んだ数値が数秒間表示されます。

お知らせ

- バス調整をしても、21 ページで調整したバスのレベルは変わりません。

CC コンバーター

CC コンバーターは、デジタル音声信号にハイビット化(24bit)およびハイサンプリング化(128kHz、176.4kHz または 192kHz) の処理を行うことにより、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にする機能です。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [CC コンバーター] を押す

- CC コンバーター機能が有効なとき、レシーバーの [CC CONVERTER] ランプ (ボタン) が点灯します。
- [CC コンバーター] を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。
  - 「CC CNVRTR 1」は、圧縮されていないデジタル音声信号 (リニア PCM) を再生するときに最適です。
  - 「CC CNVRTR 2」は、圧縮されたデジタル音声信号 (ドルビーデジタル、DTS、MP3 または WMA) を再生するときに最適です。
  - 「CC CNVRTR OFF」は、CC コンバーター機能を解除します。

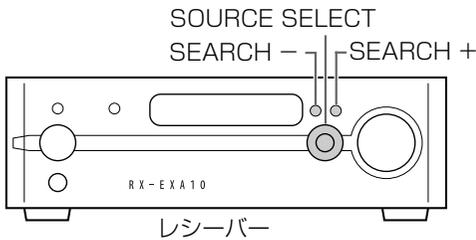
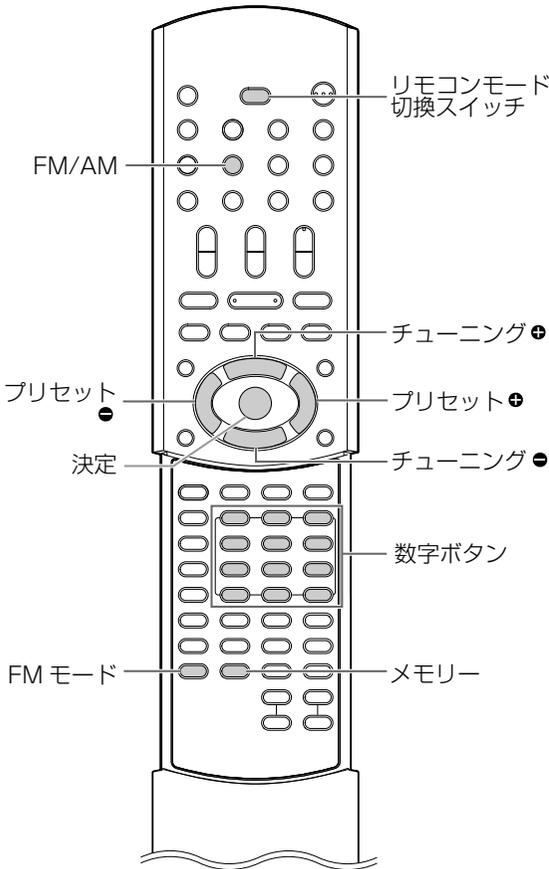
お知らせ

- お買い上げ時の設定は「CC CNVRTR 1」です。
- アナログ音声がソースとして選ばれているときや、3D フォニック (☞ 40 ページ) が有効なときは、CC コンバーターは働きません。[CC コンバーター] を押すと、「ANALOG SOURCE 」と表示されます。
- 32kHz、44.1kHz または 48kHz のサンプリング周波数が、それぞれ 128kHz、176.4kHz または 192kHz に拡張されます。

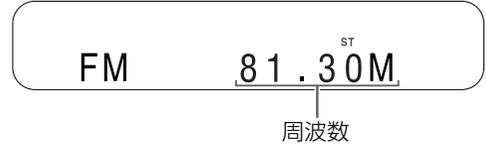
ラジオを聞く

放送局を選ぶ

FM または AM を受信することができます。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を[レシーバー] にする

2 [FM/AM] を押して、「FM」または「AM」を選ぶ

- レシーバーの [SOURCE SELECT] を回して選ぶこともできます。
- [FM/AM] を押すごとに「FM」と「AM」が切り換わります。

例：
レシーバーの表示

3 [チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] をくり返し押して、放送局 (周波数) を選ぶ

- FM ステレオ放送を受信すると、「ST」(STEREO) 表示が点灯します。
- オート (自動) 選局を使って、放送局を選ぶこともできます。

オート (自動) 選局：
[チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] を押し続け、周波数の表示が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。
途中で止めたいときは、[チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] を押します。

お知らせ

- レシーバーの [SEARCH ＋][SEARCH −] も使えます。
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、[FMモード] を押し、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。(「MONO」が点灯します。) もう一度 [FM モード] を押すとステレオ受信に戻ります。
- 本機は、テレビ 1 ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHz の音声を受信することができます。
- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。

放送局を呼び出す

放送局を記憶させておくと、次からは簡単に呼び出すことができます。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM を最大 30 局、AM を最大 15 局まで、それぞれ記憶させることができます。

■ オート（自動）プリセット

FM と AM それぞれについて行なってください。

< FM または AM を受信中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を［レシーバー］にする

2 ［メモリー］を 2 秒以上押す

レシーバーの表示

AUTO PRESET

・受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
・受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
・雑音の多い放送局も記憶されることがあります。
・前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号 1 に記憶された放送局が自動で受信されます。

■ マニュアル（手動）プリセット

放送局を 1 つずつ記憶させます。
ここでは、AM 810 kHz をプリセット番号５に記憶させる場合を例に説明します。

<AM 810 kHz(プリセットしたい放送局)を受信中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を［レシーバー］にする

2 ［メモリー］を押す

・プリセット番号が約 5 秒間点滅します。

レシーバーの表示

AM 1 810 k

3 プリセット番号が点滅している間に、［プリセット ⊕］または［プリセット ⊖］を押して、「5」（記憶させたい番号）を選ぶ

レシーバーの表示

AM 5 810 k

・数字ボタン使って、プリセット番号を選ぶこともできます。（「数字ボタンの使い方」をご覧ください。☞ 20 ページ）
・操作の途中で点滅が終わった場合は、手順２からやり直してください。

4 選んだ番号が点滅している間に［メモリー］または［決定］を押す

・「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。
・操作の途中で点滅が終わった場合は、手順２からやり直してください。

お知らせ

・同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。
・ＦＭ モードも記憶されます。

放送局を呼び出す

< FM または AM を受信中に>

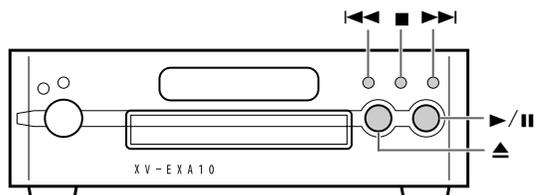
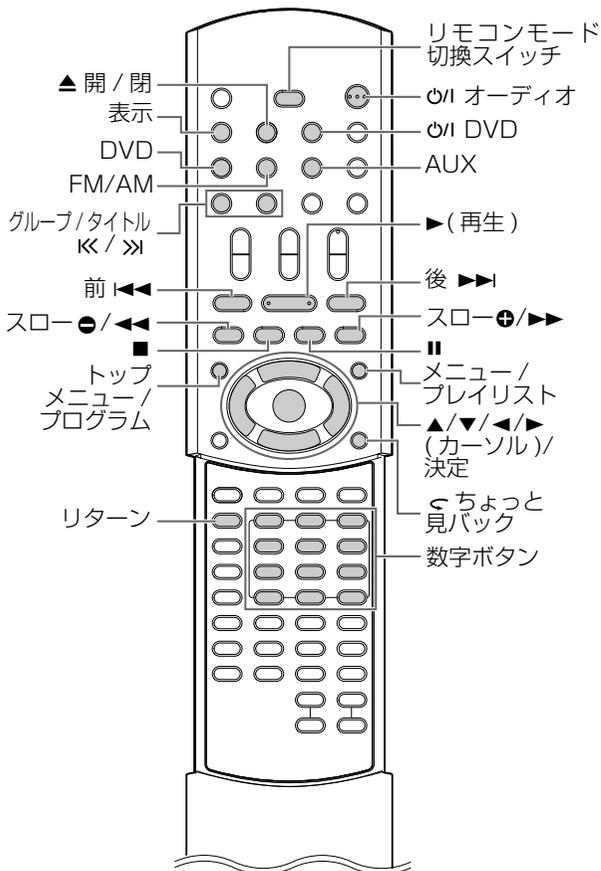
1 リモコンモード切換スイッチの位置を［レシーバー］にする

2 数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

・「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ）をご覧ください。
・［プリセット ⊕］［プリセット ⊖］を押して選ぶこともできます。

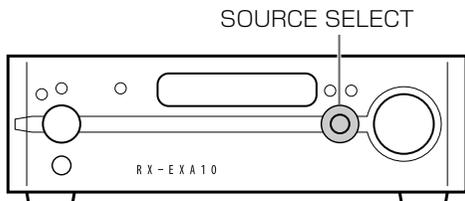
DVD プレーヤーの基本操作

XV-EXA10

XV-EXA10 のマークが付いているページは、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。

DVD プレーヤー

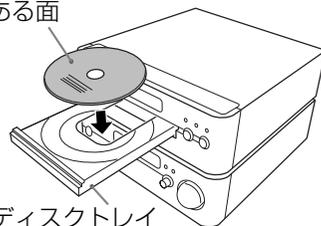
レシーバー

DVD/CD を再生する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [▲ 開 / 閉] を押す
- ディスクトレイが出ます。
- DVD プレーヤーの ▲ も使えます。

3 ディスクを置く

- 8 センチディスクは内側の凹部に置きます。

4 ►(再生) または [DVD] を押す
- DVD プレーヤーの ►/❚❚ も使えます。

お知らせ
- レシーバーの [SOURCE SELECT] を回して、挿入されているディスクをソースとして選ぶこともできます。
- DVD では、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。このようなときは、次のリモコンのボタンを使って、希望の項目を選んで再生します。
  - ▲/▼/◄/► (カーソル) で項目を選び、[決定] を押す。
  - 数字ボタンで項目を選ぶ。「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。
- DVD オーディオのときは信号がアナログに変換されます。DVD オーディオの再生を始めると「DVD-ANALOG」が数秒間表示されます。ディスクを取り出すと、「DVD-DIGITAL」に自動的に戻ります。
- XV-EXA10以外のDVDプレーヤーを使うときは、使用状況に合わせて「DVD-DIGITAL」または「DVD-ANALOG」を選んでください。[DVD] を押し続けるごとに、「DVD-DIGITAL」、「DVD-ANALOG」または「DVD-AUTO」に切り換わります。
  XV-EXA10 を使うときは、お買い上げ時の設定 (「DVD-AUTO」) に戻してください。
- ディスク制作者の意図により、ここでの説明と異なる操作方法のものもあります。
- 再生中に DVD 以外のソースを選ぶと、ディスクは自動的に止まります。このとき、「DVD OFF」が DVD プレーヤーの表示窓に表示されます。

(次ページへつづく)

MP3 WMA　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2

ここでは MP3 ディスクの表示を例に説明します。JPEG ディスクのときは、「トラック」を「ファイル」に読みかえてください。

お知らせ

- 異なる種類のファイルが 2 つ以上記録されているディスクのときは、どの種類のファイルを再生するのかをあらかじめ設定してください。(☞ 44 ページ「ファイルタイプ」)

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー　DVD　TV

2 ディスクを入れる

テレビ画面

現在のグループ番号とディスクに含まれる総グループ数

現在のトラック (ファイル) 番号と現在のグループに含まれる総トラック数 (総ファイル数)

現在のトラックの経過時間 (MP3/WMA/ASF ディスクのみ)

再生状態

現在のグループ

タグ情報 (MP3/WMA ディスクのみ)

現在のトラック (ファイル)

ディスクに含まれる総トラック数 (総ファイル数)

3 ▲/▼(カーソル)を押して、グループを選ぶ

4 ►(カーソル) を押して、トラックリスト (画面右側) へ移動する

- ◄(カーソル) を押すと、グループリスト (画面左側) に戻れます。

5 ▲/▼(カーソル)を押して、トラックを選ぶ

6 ►(再生) または [決定] を押す

お知らせ

- 手順 3 では [グループ / タイトル ⧏] / [グループ / タイトル ⧐] も、手順 5 では [前 ⏮] または [後 ⏭] も使えます。そのときは手順 4 は不要です。
- 手順 5 では数字ボタンも使えます。そのときは手順 4 と 6 は不要です。(「数字ボタンの使い方」をご覧ください。☞ 20 ページ)

スライドショー再生について JPEG

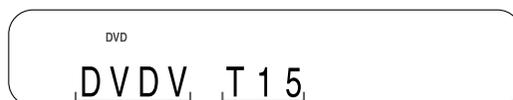
- JPEG ディスクでは、手順 6 で ►(再生) を押すとそのファイルから連続して再生し (スライドショー再生)、[決定] を押すと選んだファイルのみ再生します。
- スライドショー再生の表示時間は約3秒です。

DVD プレーヤーの表示窓

■DVD ビデオ /DVD オーディオ /DVD VR

<再生中の表示>

- DVDオーディオ再生中は、「TITLE」および「CHAP」の代わりに「GR」および「TR」が表示されます。
- DVD VR 再生中は、「VR」が表示され、「TITLE」の代わりに「PG」、「PL」が表示されます。

<停止中の表示>

ディスクの種類　総タイトル数

- DVD オーディオ停止中は、「DVDV」の代わりに「DVDA」、総タイトル数の代わりに総グループ数・総トラック数が表示されます。
- DVD VR 停止中は、「DVDV」の代わりに「VR」が、総タイトル数の代わりに総オリジナルプログラム数または総プレイリスト数が、「DVD」の代わりに「DVD VR」が表示されます。

■VCD/SVCD

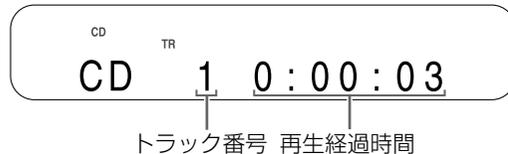
＜再生中の表示＞

- PBC (Play Back Control) は、VCD(バージョン 2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 対応 VCD に記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。PBC をオフにして再生したいときは、次の操作を行なってください。
  - 停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定する「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。
  - 停止中に [前 ⏮] または [後 ⏭] でトラック番号を指定し、►(再生) を押す
- VCD または SVCD の PBC 再生中に、1 つ上の階層に戻るときは [リターン] を押します。

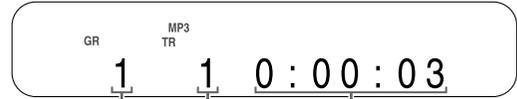
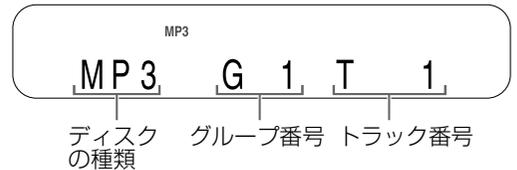
＜停止中の表示＞

- PBC がオンのときは、上の表示が数秒間現れたあとで下図の表示に切り換わります。

■CD

＜再生中の表示＞

＜停止中の表示＞

■MP3/WMA/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスク

＜再生中の表示 (MP3 のときの例) ＞

＜停止中の表示 (MP3 のときの例) ＞

■JPEG ディスク

＜再生中または停止中の表示＞

表示窓の表示を切り換える

レシーバー

1 リモコンモード切換スイッチの位置を[レシーバー] にする

2 [表示] をくり返し押す

・[表示] を押すごとに、現在のソース表示 (DVD、FM、AM、AUX-DIGITAL または AUX) または時計表示に切り換わります。

DVD プレーヤー

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　MP3 WMA　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 再生中に [表示] をくり返し押す

・[表示] を押すごとに、表示が切り換わります。

■DVD ビデオ

通常の表示 (26 ページに記載)
↕
ディスクの種類 / タイトル番号 / チャプター番号

■DVD オーディオ

通常の表示 (26 ページに記載)
↕
ディスクの種類 / グループ番号 / トラック番号

■DVD VR

通常の表示 (26 ページに記載)
↕
ディスクの種類 / オリジナルプログラム (プレイリスト) 番号 / チャプター番号

■MP3/WMA ディスク

通常の表示 (27 ページに記載)
↓
ファイルの種類 / グループ番号 / トラック番号
↓
テキスト *
（テキスト * から通常の表示へ戻る）

* MP3/WMA ディスクにファイル名などのテキストが記録されているときは、テキストが DVD プレーヤーの表示窓にスクロール表示されます。

■ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスク

通常の表示 (27 ページに記載)
↕
ファイルの種類 / グループ番号 / トラック番号

数字ボタンでチャプター / トラックを選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2　VCD SVCD
└ (PBC オフ)

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 数字ボタンを押してチャプター番号またはトラック番号を選ぶ

・「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。

お知らせ

・ ディスクによっては、この機能は働きません。

停止する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 ■ を押す

一時停止する

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD CD MP3 WMA JPEG ASF DivX MPEG1 MPEG2

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 ❚❚ を押す

・►(再生) を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

・ DVD プレーヤーのボタンで操作する場合は、►/❚❚ を押すごとに一時停止と再生が切り換わります。

画像を 1 コマずつ送る

DVDビデオ DVD VR VCD SVCD ASF DivX MPEG1 MPEG2 DVDオーディオ (動画部のみ)

<一時停止中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 ❚❚ をくり返し押す

早送り / 早戻し

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD CD MP3 WMA ASF DivX MPEG1 MPEG2

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

手順 2 には次の 2 つの方法があります。

2 ◄◄ または ►► を押す

・押すごとに、スピードが変わります。►(再生) を押すと通常のスピードに戻ります。

[前 I◄◄] または [後 ►►I] を押し続ける

・ボタンを押している間だけ、早送り / 早戻しします。

お知らせ

・ 早送り / 早戻ししているとき、ディスクによっては、音声が断続的になるものや、出ないものがあります。
・ ディスクの種類によって、選べるスピードや表示が異なります。

電源を入れたときテレビに表示される画面

DVD プレーヤーの使用状況に応じて下記のようなメッセージが表示されます。

表示	内容
NOW READING	ディスク読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー！	リージョン番号が異なるため再生できません。(☞ 51 ページ)
NO DISC	ディスクが入っていません。
OPEN	ディスクトレイを開いています。
CLOSE	ディスクトレイを閉じています。
このディスクは再生できません	再生できないディスクです。

約 10 秒前から再生し直す (ちょっと見バック)

DVD ビデオ　DVD VR

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [ちょっと見バック] を押す

お知らせ

- ディスクによっては、この機能は働きません。
- 一つ前のタイトルに戻ることはできません。

スローモーション再生する

DVD ビデオ　DVD VR　VCD SVCD　DVD オーディオ (動画部のみ)

<一時停止中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [スロー ⊖]または[スロー ⊕]を押す

- 押すごとに、スピードが変わります。
- ❚❚ を押すと一時停止、►(再生) を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 音声は再生されません。
- 逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
- VCD、SVCD または DVD VR では、順方向のみスローモーション再生できます。

頭出しする

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2　VCD SVCD (PBC オフ)

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [前 |◄◄] または [後 ►►|] を押す

- 押すごとに前後のチャプター/トラック/ファイルの頭に移ります。
- 再生中のチャプター/ トラックの先頭に戻るときは[前 |◄◄] を 1 回押します (JPEG ディスクを除く)。
- タイトルやグループを選ぶときは[グループ / タイトル »|] または [グループ / タイトル |«] を押します。
- MP3/WMA/JPEG/ASF/DivXディスク再生中は、[後 ►►|] または ▼(カーソル) を押すと次のファイルが、[前 |◄◄] または ▲(カーソル) を押すと一つ前のファイルが再生されます。

お知らせ

- DVD ビデオのときを除いて、停止中も操作できます。このとき ▲ または ▼(カーソル) を使うと、テレビ画面を見ながら頭出しすることができます。
- ディスクによっては、この機能が使えません。

テレビ画面に表示されるマーク (オンスクリーンガイド)

マーク	意味
►	再生
❚❚	一時停止
◄◄ ►►	早戻し / 早送り
◄❚ ❚►	スローモーション再生 (逆方向 / 順方向)
アングル	複数のアングルあり (☞ 38 ページ)
音声	複数の音声あり (☞ 37 ページ)
字幕	複数の字幕あり (☞ 37 ページ)
	そのディスクでは、行なった操作が禁止されています。

約 5 分ごとに送る / 戻す

DivX MPEG1 MPEG2

ファイル内を約 5 分の区切りで移動することができます。

長時間のファイルの中を移動したいときに便利です。

＜再生中に＞

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 ◄ または ►(カーソル) を押す

・ 押すごとに前後の区切りに移動します。区切りと区切りの間隔は約 5 分です。

お知らせ

・ 区切りは、ファイルの頭から順に自動的に割り振られます。
・ 移動できるのは同じファイルの中だけです。
・ ディスクによっては、この機能が使えません。

あとで続きを再生する (リジューム)

DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR VCD SVCD MP3 WMA ASF DivX MPEG1 MPEG2

再生を途中で停止したとき、その場面から再び再生することができます。

中断したいとき

＜再生中に＞

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 次のいずれかを行なう

■ を 1 回押す。(「RESUME」が表示されます。) *1*2
[⏻/I オーディオ] を押してレシーバーの電源を「切」にする。
[⏻/I DVD] を押して DVD プレーヤーの電源を「切」にする。
ラジオ (FM/AM) など、他のソースに切り換える。*1

*1 このあと [⏻/I オーディオ] または [⏻/I DVD] を押してレシーバーや DVD プレーヤーの電源を切っても、位置の記憶は残ります。
*2 ■ を 2 回押すと「RESUME」が消えて、記憶が取り消されます。

つづきを再生したいとき

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 ►(再生) を押す

お知らせ

・ プログラム再生やランダム再生では機能しません。
・ 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
・ ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム再生機能が働かないことがあります。
・ 停止位置とともに、そのときの音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
・ 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると取り消されます。
・ お買い上げ時はリジュームが「オン (リジュームする)」に設定されています。「オフ (リジュームしない)」に設定することもできます。(☞ 44 ページ「リジューム」)

メニューから選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD (PBC オフ)

<停止中または再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [メニュー/ プレイリスト] または [トップメニュー/ プログラム] を押す

- ディスクのメニュー画面が表示されます。
- DVDオーディオのときは、[トップメニュー / プログラム] のみ使えます。

3 ▲/▼/◄/►(カーソル) (DVDビデオ、DVD オーディオのみ)、または数字ボタンを押して、再生するところを選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。
- メニュー画面に複数のページが用意されているときは、[前 ⏮] または [後 ⏭] を押してページを切り換えます (VCD、SVCD のみ)。

4 [決定] を押す

お知らせ

- メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。
- ディスクによっては [決定] を押さなくても再生が始まります。

DVD VR

<停止中または再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 オリジナルプログラムを表示したいときは [トップメニュー / プログラム] を、プレイリストを表示したいときは [メニュー / プレイリスト] を押す

■オリジナルプログラム

■プレイリスト

- プレイリストが収録されていないときは、表示されません。

3 ▲/▼ (カーソル) を押して、再生したいタイトルを選ぶ

4 [決定] を押す

- 手順 2 で [トップメニュー / プログラム] を押してオリジナルプログラムから選んだときは、選んだタイトルから連続して再生します。
- 手順 2 で [メニュー / プレイリスト] を押してプレイリストから選んだときは、選んだタイトルのみを再生します。

DVD プレーヤーの便利な機能 XV-EXA10

XV-EXA10 のマークが付いているページは、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。

DVD プレーヤー

チャイルドロック

DVD プレーヤーに入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。

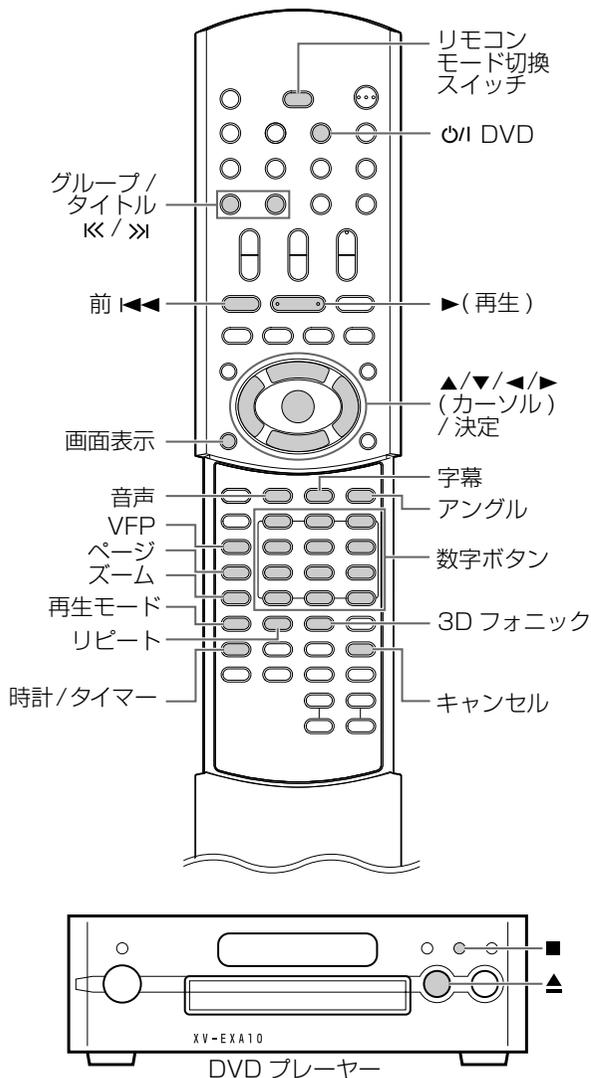
< DVD プレーヤーの電源が「切」のときに>

DVDプレーヤーの ■ を押しながら ⏏ を押す

・DVD プレーヤーの表示窓に「LOCKED」と表示されます。

解除するには

もう一度、上記の操作をする

・DVD プレーヤーの表示窓に「UNLOCKED」と表示されます。

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD　CD　MP3 WMA

最大 99 のチャプター / トラックを好みの順番でプログラムできます。同じチャプター / トラックを何度もプログラムできます。

＜停止中に＞

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

（レシーバー　DVD　TV）

2 [再生モード] をくり返し押して、「PROGRAM」を選ぶ

例：DVD ビデオのとき
DVD プレーヤーの表示

テレビ画面

(次ページへつづく)

3 数字ボタンでチャプター / トラックをプログラムする

・「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。

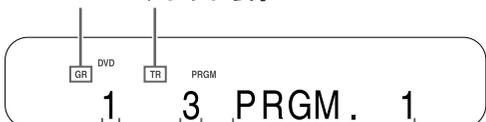
■DVD ビデオのとき

・最初にタイトル番号を選び、次にチャプター番号を選びます。

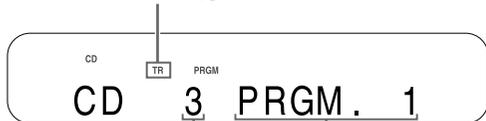
DVD プレーヤーの表示

■DVD オーディオ /MP3/WMA ディスクのとき

・最初にグループ番号を選び、次にトラック番号を選びます。

DVD プレーヤーの表示

■VCD/SVCD/CD のとき

・トラック番号を選びます。
・トラックを選び終えると、プログラム再生の総時間が表示されます。

DVD プレーヤーの表示

例：DVD ビデオのとき

テレビ画面

・DVDオーディオのボーナスグループを選びたいときは、あらかじめ 39 ページ「ボーナスグループを再生する」の操作をして、「BONUS」表示を消してください。
・チャプター / トラックの入力数が 99 を超えると、「MEMORY FULL」が表示されます。
・VCD、SVCD、CD の場合は、再生時間の合計が 9 時間 59 分 59 秒以上になると、DVD プレーヤーの表示窓に「--:--」と表示されます。

お知らせ

・DVD ビデオ、DVD オーディオ、MP3、WMA ディスクの場合、トラック/チャプター番号を入力するかわりに [決定] を押すと「ALL」と表示され、そのグループ/タイトルに含まれるすべてのトラック/チャプターがプログラムされます。

4 ►(再生) を押す

プログラム再生を解除するには

停止中に [再生モード] をくり返し押して「PRGM」（上部の表示）を消す

・プログラム内容は削除されません。

プログラム内容を消去するには

次のいずれかの操作をする

・プログラム設定画面が表示された状態で、表示窓に「ALL CLEAR !」が表示されるまで [キャンセル] を押し続ける ([キャンセル] を押してすぐ離すと、プログラムが 1 つずつ消去されます)
・ディスクトレイを開ける
・電源を「切」にする (TIMER PLAY (☞ 36 ページ) が働いていないとき)

無作為な順番で再生する(ランダム再生)

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD　CD　MP3 WMA

<停止中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [再生モード] をくり返し押して、「RANDOM」を選ぶ

DVD プレーヤーの表示

DVD RND
DVDV　RANDOM

・テレビ画面には「RANDOM」と表示されます。

3 ►(再生) を押す

・同じチャプター / トラックが 2 度再生されることはありません。
・ランダム再生中に [前 ⏮] をくり返し押しても、前の曲には戻れません。(現在のチャプター / トラックの頭に戻ります)

お知らせ

・DVD ビデオのとき、ディスクによってはランダム再生が使えないことがあります。

ランダム再生を解除するには

次のいずれかの操作をする

・停止中に [再生モード] をくり返し押し、「RND」を消灯させます。
・ディスクトレイを開ける
・電源を「切」にする (TIMER PLAY (☞ 36 ページ) が使われていないとき)

くり返し再生する(リピート再生)

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2　VCD SVCD (PBC オフ)

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [リピート] を押す

・押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

テレビ画面の表示	DVD プレーヤーの表示窓の表示	動作
TITLE	ALL REPEAT TITLE	現在のタイトルをリピート
ALL またはREPEAT ALL	ALL REPEAT ALL	ディスク全体をリピート*1
GROUP*2 またはREPEAT GROUP	GR REPEAT GROUP*2	現在のグループをリピート*3
CHAP*4	REPEAT CHAP*4	現在のチャプターをリピート
TRACK*4 またはREPEAT TRACK	REPEAT TRACK*4	現在のトラックをリピート
OFF または表示なし	REPEAT OFF	リピートを解除

*1 プログラム再生中はプログラム全体をリピートします。
*2 DVD VR のオリジナルプログラム再生中は「PG」が、プレイリスト再生中は「PL」が表示されます。
*3 DVD VR のときは、現在のオリジナルプログラムまたはプレイリストをリピートします。
*4 プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」(ステップ) と表示されます。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます。(☞ 41 ページ)
・DVD ビデオ、DVD オーディオまたは DVD VR のときに、ソースを FM/AM または AUX に切り換えると、リピート再生は解除されます。
・再生できないファイルがあるときはリピートモードは自動で解除されます (☞ 51・52 ページ)。

指定した範囲をくり返し再生する (A-B リピート)

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　VCD SVCD └(PBC オフ)

＜再生中に＞

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [画面表示] を 2 回押す

・メニューバー (☞ 41 ページ) が表示されます。

3 ◄/►(カーソル)を押して［OFF］を選ぶ

4 [決定] を押す

5 ▲/▼(カーソル) を押して［A - B］を選ぶ

6 くり返す範囲の始点で[決定]を押す (A ポイントの指定)

・メニューバーのアイコンが［A-］になります。

7 くり返す範囲の終点で[決定]を押す (B ポイントの指定)

・メニューバーのアイコンが［A-B］になり、A-B ポイント間がくり返し再生されます。

お知らせ

・タイトルやトラックをまたがる A-B リピートはできません。
・プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-B リピートができません。
・DVD ビデオのとき、ディスクによってはA-B リピートが使えないことがあります。

A-B リピートを解除するには

次のいずれかの操作をする

・■ を押す
・［A-B］を選んで [決定] を 2 回押す (［OFF］ を選ぶ)

再生の設定を保存する (TIMER PLAY)

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　JPEG　ASF　MPEG1 MPEG2

TIMER PLAY(タイマープレイ) を有効にしておくと、DVD プレーヤーの電源を「切」にしても、プログラム再生、ランダム再生またはリピート再生の設定を記憶しています。この機能を再生タイマー (☞ 48 ページ) と組み合わせると、電源を「切」にしたときの状態でタイマー動作させることができます。

TIMER PLAY を有効にするには

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [時計 / タイマー] を押す

DVD プレーヤーの表示

TIMER
TIMER PLAY

・TIMER PLAY はリジューム再生機能（☞ 3 1 ページ）に優先します。

TIMER PLAY を解除するには

次のいずれかの操作をする

・[時計 / タイマー] を押す

DVD プレーヤーの表示

TIMER CANCEL

・ディスクトレイを開ける

字幕を切り換える

DVD ビデオ　DVD VR　SVCD　DivX　DVD オーディオ
└ (動画部のみ)

このページでは、DVD ビデオのときの画面を例に説明します。
他の種類のディスクでもほぼ同様に操作できます。

<複数の字幕が入ったディスクを再生中に>

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする**

2 **[字幕] を押す**

例：

テレビ画面

・押すごとに、字幕のオン / オフが切り換わります。

3 **▲/▼(カーソル) を押して字幕の言語を選ぶ**

4 **[決定] を押す**

・[決定] を押さなくても、数秒後に自動で切り換わります。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます(☞ 41ページ)。
・「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 55 ページ) をご覧ください。

音声を切り換える

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　DivX

<複数の音声が入ったディスクを再生中に>

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする**

2 **[音声] を押す**

例：

テレビ画面

・押すごとに音声の種類が切り換わります。▲/▼ (カーソル) を押しても切り換わります。

3 **[決定] を押す**

・[決定] を押さなくても、数秒後に自動で切り換わります。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます(☞ 41ページ)。
・「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 55 ページ) をご覧ください。
・VCD/SVCD/DVD VR のときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。
・DivX ディスクのときは、言語の番号のみがテレビ画面に表示されます。

アングル(角度)を切り換える

DVDビデオ　DVDオーディオ
└(動画部分のみ)

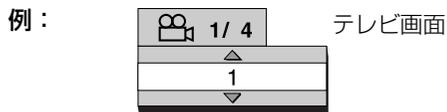
<複数のアングルが入った場面を再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [アングル] を押す

例：

テレビ画面

・押すごとにアングルが切り換わります。▲/▼(カーソル)を押しても切り換わります。

3 [決定] を押す

・[決定] を押さなくても、数秒後に自動で切り換わります。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます(☞41ページ)。

画像を拡大する(ズーム)

DVDビデオ　DVD VR　VCD SVCD　JPEG　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2
DVDオーディオ
└(動画部分のみ)

<再生中または一時停止中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [ズーム] を押す

・押すごとに倍率が切り換わります。

3 ▲/▼/◄/►(カーソル)を押して、見たい部分を選ぶ

・通常の再生に戻したいときは、手順2で「ZOOM OFF」を選びます。

お知らせ

・JPEGディスクをスライドショー再生しているときは操作できません。
・ASF ディスク再生中、▲/▼/◄/►(カーソル)が手順3で使えないときがあります。

画質を調節する (VFP)

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD JPEG ASF DivX MPEG1 MPEG2

<再生中または一時停止中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [VFP] を押す

・VFP 画面（現在の設定）がテレビ画面に表示されます。

例：
テレビ画面

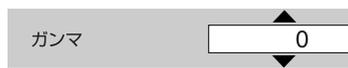
ガンマ：	画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。（設定範囲：－３～＋３）
明るさ：	画面の明るさを調節します。（設定範囲：－８～＋８）
コントラスト：	画面のコントラストを調節します。（設定範囲：－７～＋７）
色のこさ：	画面の色の濃さを調節します。（設定範囲：－７～＋７）
色合い：	画面の色合いを調節します。（設定範囲：－７～＋７）
シャープネス：	画面のシャープさを調節します。（設定範囲：－８～＋８）

3 ◄ /►(カーソル) を押して VFP モードを選ぶ

ノーマル：	通常はこれを選びます。（調節はできません）→手順８へ
シネマ：	照明を落とした部屋で映画ソフトを鑑賞するのに向いています。（調節はできません）→手順８へ
ユーザ１ / ユーザ２：	お好みの画質に調節ができます。→手順４へ

4 ▲/▼（カーソル）を押して、調節したい項目を選ぶ

5 [決定] を押す

例：
テレビ画面

6 ▲/▼（カーソル）を押して数値を変更する

7 [決定] を押す

・他の項目も調節したいときは、手順４に戻ります。

8 [VFP] を押す

お知らせ

・操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。
・VFP は Video Fine Processor の略です。

ボーナスグループを再生する

DVDオーディオ

DVD オーディオには、ボーナスグループと呼ばれる特別なグループを収録したものがあります。
下図の表示が点灯しているときに操作できます。

DVD プレーヤーの表示

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [グループ/タイトル ⪢I]をくり返し押してボーナスグループを選ぶ

・テレビ画面と DVD プレーヤーの表示窓に「KEY_ _ _ _」が表示されます。

3 数字ボタンを押して暗証番号 (4 ケタ）を入力する

・暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

4 [決定] を押す

・正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。
・暗証番号を間違えたときは、もう一度正しい暗証番号を入力します。

静止画を見る (B.S.P.)

DVD オーディオ

DVD オーディオには、B.S.P. (ブラウザブル スチル ピクチャー) と呼ばれる静止画が収録されているものがあります。お好みでページをめくるように、静止画を切り換えることができます。
下図の表示が点灯しているときに操作できます。

DVD プレーヤーの表示

<再生中に>

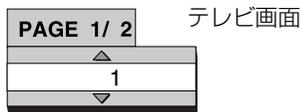
1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [ページ] を押す

・押すごとに、静止画が切り換わります。▲/▼(カーソル) でも選べます。

例：

テレビ画面

3 [決定] を押す

・[決定] を押さなくても、数秒後に自動で切り換わります。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます(☞ 41 ページ)。

サラウンド感を出す (3D フォニック)

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA

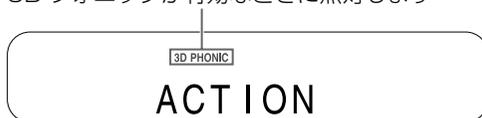
2 本のスピーカーで擬似的にサラウンドの効果を得ることができます。

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [3D フォニック] を押す

例：
DVD プレーヤーの表示
3D フォニックが有効なときに点灯します

3D PHONIC
ACTION

押すごとに次のように切り換わります。

ACTION：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
DRAMA：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
THEATER：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
3D PHONIC OFF：3D フォニックが解除されます。(お買い上げ時の設定)

お知らせ

・スピーカー / ヘッドホンともに効果があります。
・雑音が多いときや音が歪むときは、「3D PHONIC OFF」にしてください。
・3D フォニックが有効なとき、自動的にアナログ再生になります。このとき、「DVD-ANALOG」がレシーバーの表示窓に表示されます。3D フォニックを解除すると「DVD-DIGITAL」に自動的に戻ります。ただし、DVD オーディオを再生すると、3D フォニックが有効 / 解除どちらでもアナログ信号に変換されます。
・DVD オーディオにはこの操作ができないものがあります。
・3D フォニックを有効にすると CC コンバーターが自動的に解除されます。(☞ 22 ページ)
・ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスクのとき、「ACTION」、「DRAMA」または「THEATER」が表示されますが 3D フォニックは働きません。

メニューバーで操作する

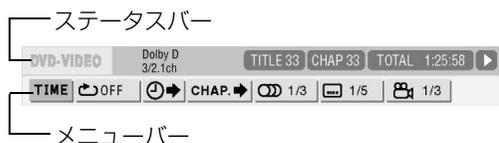
DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　ASF　DivX　MPEG1 MPEG2

＜再生中に＞

1 **リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする**

レシーバー DVD TV

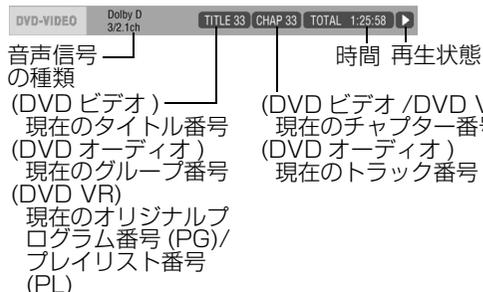
2 **[画面表示] を 2 回押す**

例：
DVD ビデオが入っているとき

3 **◄/►(カーソル) を押して、操作したい項目を選ぶ**

4 **[決定] を押す**

- 選んだ機能が設定できるようになります。設定内容については「機能一覧」をご覧ください。(☞ 42 ページ)
- メニューバーの文字が青いときは、その機能が働いています。
- メニューバーを消したいときは [画面表示] を押します。

ステータスバーに表示される情報

DVD ビデオ /DVD オーディオ /DVD VR(下図は DVD ビデオの例)

VCD/SVCD/CD/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスク (下図は CD の例)

お知らせ

- 再生状態のマークは、オンスクリーンガイドのマークと同じ意味です。(☞ 30 ページ)

機能一覧

特に操作説明のない機能については、▲/▼ (カーソル) で選択、[決定] で決定します。

TIME 時間表示選択	DVD プレーヤーの表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。[決定] を押すごとにモードが切り換わる。 **DVD ビデオ /DVD オーディオ** TOTAL：タイトル / グループの経過時間 T.REM：タイトル / グループの残り時間 TIME：チャプター/ トラックの経過時間 REM：チャプター/ トラックの残り時間 **DVD VR** TOTAL：タイトル / グループの経過時間 T.REM：タイトル / グループの残り時間 **CD/VCD/SVCD** TIME：トラックの経過時間 REM：トラックの残り時間 TOTAL：ディスクの先頭からの経過時間 T.REM：ディスクの残り時間
リピートモード	☞ 35 ページ
タイムサーチ	☞ 右記を参照。
CHAP. / TRACK チャプターサーチ (DVD ビデオ /DVD VR)/ トラックサーチ(DVDオーディオ)	チャプター/ トラックを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター/ トラック番号を入力し、[決定] を押す。 例： 5: (5)　24: (2)→(4)
音声 (DVD ビデオ / DVD オーディオ / VCD/SVCD)	☞ 37 ページ
字幕 (DVD ビデオ / DVD VR/SVCD)	☞ 37 ページ
1/ 3 アングル (DVD ビデオ/DVDオーディオ)	☞ 38 ページ
PAGE -/- ページ切り換え (DVD オーディオ)	DVD オーディオのディスクに収録されている静止画 (B.S.P.) を切り換える。(☞ 40 ページ)

時間を指定する (タイムサーチ)

<再生中に>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

レシーバー DVD TV

2 [画面表示] を 2 回押す

・メニューバーが表示されます。(☞ 41 ページ)

3 ◄/►(カーソル) を押して を選ぶ

4 [決定] を押す

5 数字ボタン (1 ～ 9、0) を押して時間を入力する

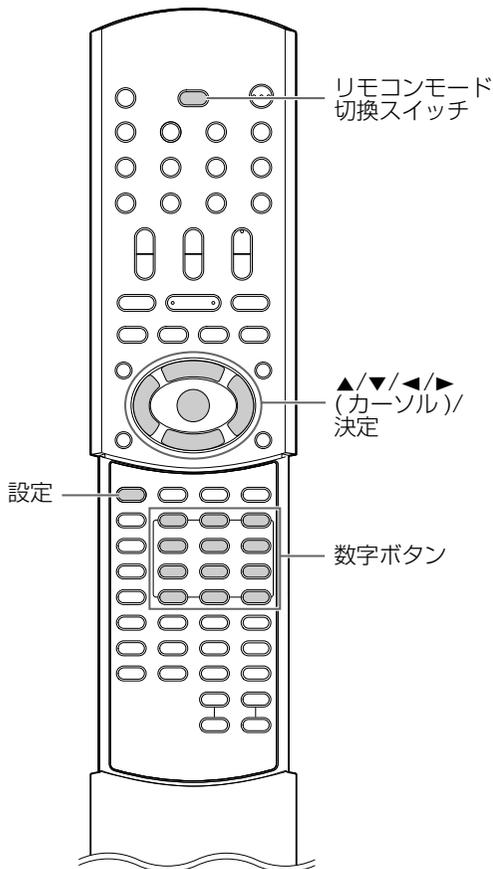
例：
DVD ビデオ (0 時間)23 分 45 秒から再生したいときは、
(0)→(2)→(3)→(4)→(5) の順に押す。
・「分・秒」は省略できます。
・間違えたときは ◄(カーソル) を押して数字を消去し、入力し直します。

6 [決定] を押す

・メニューバーを消したいときは [画面表示] を押します。

お知らせ

・時間情報が記録されていない DVD ビデオでは、この機能は働きません。
・プログラム・ランダム再生中はこの機能は働きません。
・CD はいつでも操作できます。
・VCD または SVCD は PBC オフで再生中に操作できます。
・DVD ビデオはタイトルの先頭から始まります。DVD オーディオは再生中のトラックの先頭から始まります。VCD、SVCD と CD でのタイムサーチは、次のようになります。
  - 停止中はディスクの先頭からの時間でのタイムサーチ
  - 再生中は、現在のトラック内でのタイムサーチ

XV-EXA10 のマークが付いているページは、DVD プレーヤーとして XV-EXA10 を使用しているときの説明です。他の DVD プレーヤーを接続してお使いになる場合はその機器の取扱説明書に従って操作してください。

DVD プレーヤーのお買い上げ時の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

お知らせ

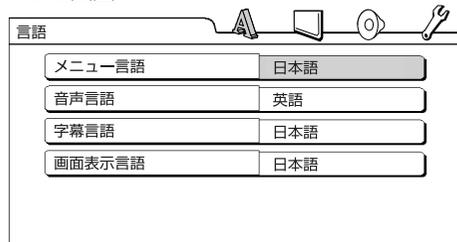
・ワイドテレビでは各種設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

<停止中またはディスクが入っていないときに(「NO DISC」表示中に)>

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

2 [設定] を押す

テレビ画面

・このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。

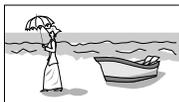
言語設定画面

お知らせ

・選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクに最適な設定の言語で表示されます。
・「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 55 ページ)をご覧ください。

設定項目	設定内容
メニュー言語	DVD ビデオのメニューの言語を選びます。
音声言語	DVD ビデオの音声の言語を選びます。
字幕言語	DVD ビデオの字幕の言語を選びます。
画面表示言語	設定画面に表示される言語を選びます。

映像設定画面

設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)
TV タイプ	16 : 9 : 普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。 4 : 3 LB(レターボックス) : 従来 (4 : 3) のテレビ用。横長の映像は上下に黒い隙間が表示されます。 4 : 3 PS(パンスキャン) : 従来 (4 : 3) のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます。(ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります。)
映像ソース	映像ソースに適した設定を選びます。 オート : 素材のタイプ (ビデオ / フィルム) を自動的に判別します。 フィルム : フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 ビデオ : ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの オン / オフを選びます。(スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約5分操作がないときに動作します)
ファイルタイプ	1 枚のディスクに異なる種類のファイル(オーディオ / 静止画 / ビデオ) が複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するか選びます。 オーディオ : MP3/WMA ファイルを再生します。 静止画 : JPEG ファイルを再生します。 ビデオ : ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ファイルを再生します。

音声設定画面

設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)
デジタル OUT*	デジタル出力端子に接続する機器 (AV アンプなど) に合わせて出力信号の種類を次から選べます。「デジタル OUT の設定項目と出力信号の関係一覧」(☞ 45 ページ) をご覧ください。 PCM のみ : リニア PCM のみに対応している機器。 DOLBY DIGITAL/PCM : ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 ストリーム /PCM : DTS/ ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
ダウンミックス	接続した機器に合わせて、デジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタル OUT」を「PCM のみ」にしているとき設定します。 ドルビーサラウンド : ドルビープロロジックデコーダ内蔵の機器。 ステレオ : 通常の機器。
D(ダイナミック) レンジコントロール	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。(ドルビーデジタルで収録された DVD のみ) オート : D レンジコントロールが自動的に働く。 オン : D レンジコントロールが常に働く。

* 本機 (XV-EXA10 と EX-A10 の組み合わせ) では、「PCM のみ」でお使いください。

その他設定画面

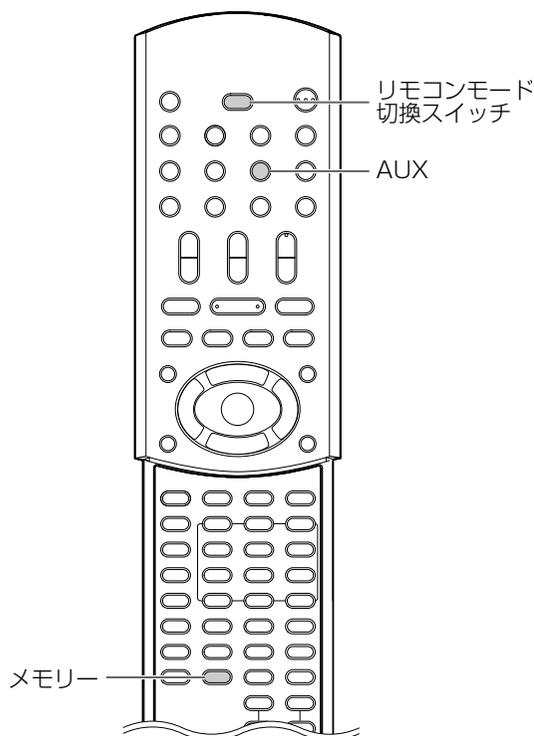
設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)
リジューム	オン / オフを選ぶ (☞ 31 ページ)
オンスクリーンガイド	オン / オフを選ぶ (☞ 30 ページ)
AV コンピュリンクモード	弊社のテレビや AV アンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選びます。(詳しくは「AV コンピュリンクの活用」(☞ 50 ページ) をご覧ください)。 DVD1 : テレビのビデオ 3 入力または AV アンプの DVD 入力に接続。 DVD2 : テレビのビデオ 1 入力に接続。 DVD3 : テレビのビデオ 2 入力に接続。
DivX 認証	本機のDVDプレーヤーには固有の登録コードがあります。必要があるときに登録コードを確かめることができます。著作権保護のため、登録コードが記録されたディスクを再生すると、本機の DVD プレーヤーの登録コードが上書きされます。

デジタル OUT の設定項目と出力信号の関係一覧

<table>
<tr><td rowspan="2">再生ディスク</td><td colspan="3">「デジタル OUT」設定</td></tr>
<tr><td>PCM のみ</td><td>DOLBY DIGITAL/PCM</td><td>ストリーム /PCM</td></tr>
<tr><td>48 kHz、16/20/24 ビット
リニア PCM の DVD ビデオ
96 kHz リニア PCM の DVD ビデオ</td><td colspan="3">48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM</td></tr>
<tr><td>48/96/192 kHz、
16/20/24 ビットリニア PCM の
DVD オーディオ *</td><td colspan="3">48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM</td></tr>
<tr><td>44.1/88.2/176.4 kHz、
16/20/24 ビットリニア PCM の
DVD オーディオ *</td><td colspan="3">44.1 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM</td></tr>
<tr><td>DTS の DVD ビデオ /DVD オーディオ *</td><td colspan="2">48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM</td><td>DTS ビットストリーム</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルの DVD ビデオ /
DVD オーディオ *</td><td>48 kHz、16 ビットステレオ
のリニア PCM</td><td colspan="2">ドルビーデジタルビットストリーム</td></tr>
<tr><td>VCD/SVCD/CD</td><td colspan="3">44.1 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM/48kHz、16 ビットのリニア PCM</td></tr>
<tr><td>DTS の CD</td><td colspan="2">44.1 kHz、16 ビットのリニア PCM</td><td>DTS ビットストリーム</td></tr>
<tr><td>MP3/WMA/DivX ディスク</td><td colspan="3">32/44.1/48 kHz、16 ビットのリニア PCM</td></tr>
</table>

お知らせ

* 著作権保護された DVD オーディオでは、信号は出力されません。
・ デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていない DVD ビデオでは、20 ビットまたは 24 ビットで出力されるものがあります。
・ 本機 (XV-EXA10 と EX-A10 の組み合わせ) では、「PCM のみ」(お買い上げ時の設定) でお使いください。

他のオーディオ機器の音声を聞く

あらかじめ本機と他のオーディオ機器をつないでおいてください。(☞ 17 ページ)

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [AUX] を押して、「AUX-DIGITAL」または「AUX」を選ぶ

- [AUX] を押すごとに、レシーバーの表示が「AUX-DIGITAL」または「AUX」に切り換わります。
- ソースが AUX 端子からの信号に切り換わります。
- レシーバーの [SOURCE SELECT] を回して、AUX 端子からの信号をソースとして選ぶこともできます。

3 他のオーディオ機器を再生する

- 詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 本機の音量・音質を調節する (☞ 21 ページ)

お知らせ

- デジタル入力 AUX 端子に他の機器が接続されていないとき、または接続されている機器の電源が入っていないときは、「AUX-DIGITAL」表示を選んでも「AUX-D UNLOCK」表示に切り換わります。

他のオーディオ機器の音声入力レベルを調節する

AUX端子に接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

2 [AUX] を押して、「AUX」を選ぶ

- [AUX] を押すごとに、レシーバーの表示が「AUX-DIGITAL」または「AUX」に切り換わります。
- ソースが AUX 端子からの信号に切り換わります。

3 入力レベルが表示されるまで [メモリー] を押し続ける

- 押し続けるごとに次のように切り換わります。

LEVEL1 STORED : 通常はこちらでお使いください。(お買い上げ時の設定)

↕

LEVEL2 STORED : 他の機器からの入力レベルが大きすぎて音声がひずんで聞こえるときに、こちらに設定します。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

1 リモコンモード切換スイッチの位置を [レシーバー] にする

レシーバー
DVD TV

2 [スリープ] を押す

・押すごとに、レシーバーの時間表示 (単位 : 分) が切り換わります。

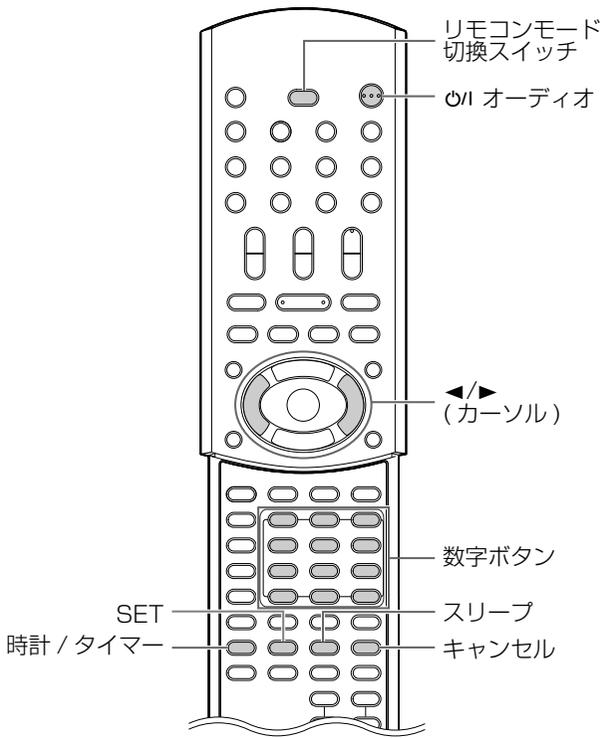
例 :

スリープ時間を60分にしたときのレシーバーの表示

SLEEP
SLEEP 60

数秒後にスリープ時間が自動で設定され、表示が消えます。

お知らせ

・スリープタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。

スリープ時間を変更する

もう一度、手順1と2を行なう

スリープ時間を確認する

<スリープタイマーが設定された状態で>

手順2で、[スリープ] を1回押す

スリープ時間を解除する

手順 2 で、「SLEEP OFF」を選ぶ

お知らせ

・電源を「切」にしたときもスリープタイマーは解除されます。

再生タイマー

あらかじめ時計を設定しておいてください。
(☞ 20 ページ)

1 リモコンモード切換スイッチの位置を[レシーバー] にする

2 [時計 / タイマー] を押す

レシーバーの表示

・ まちがって 2 回以上 [時計 / タイマー] を押したときは、[時計 / タイマー] をくり返し押して上記の表示を選んでください。

3 [SET] を押す

4 開始時刻と終了時刻を設定する

・ ◄ または ►(カーソル) を押して時刻を選び [SET] を押して確定します。

例：

開始時刻を 8 時 45 分に設定するときのレシーバーの表示

TIMER
ON　　8 : 45

終了時刻を９時 45 分に設定するときのレシーバーの表示

TIMER
OFF　　9 : 45

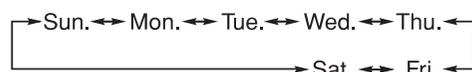
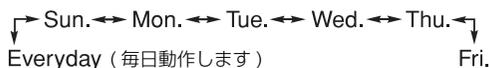
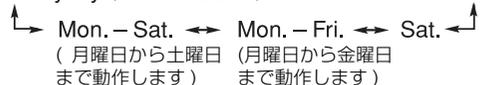
・ ◄ または ►(カーソル) の代わりに数字ボタンも使えます。「数字ボタンの使い方」(☞ 20 ページ) をご覧ください。

5 ◄ または ►(カーソル) を押して「ONCE」または「WEEKLY」を選ぶ

ONCE　　1 回だけ動作します。
WEEKLY　毎週または毎日動作します。

6 [SET] を押す

7 ◄ または ►(カーソル) を押して、動作させたい曜日を選ぶ

・ ◄ または ►(カーソル) を押すごとに、次のように切り換わります。

8 [SET] を押す

9 ◄または►(カーソル)を押して再生したいソースを選ぶ

・「FM」または「AM」を選んだときは、◄、►(カーソル)または数字ボタンを押して聞きたい放送局のプリセット番号を選び (☞ 20 ページ「数字ボタンの使い方」)、[SET] を押します。
・ XV-EXA10以外のDVDプレーヤーをお使いの場合は、「DVD」を選んでもタイマー動作しませんのでご注意ください。

10 [SET] を押す

11 ◄ または ►(カーソル) を押して再生する音量を選ぶ

・ 数字ボタンで音量を選ぶこともできます。
・ レシーバーの表示窓に設定内容が表示されます。

12 [SET] を押す

13 [⏻/I オーディオ] を押してレシーバーの電源を「切」にする

・ タイマーはレシーバーの電源が「切」のときのみ動作します。

レシーバーの表示

再生タイマーが働いているときに点灯します。

お知らせ

・ 手順４で設定した開始時刻の少なくとも１分前には設定を完了してください。（１分未満の場合はタイマー動作しません。）
・ 操作の途中で [キャンセル] を押すと前の手順に戻ることができます。[時計 / タイマー] を押すと操作を中止することができます。
・ 再生が始まると、音量は徐々に大きくなり設定した音量になります。
・ プログラム再生 / ランダム再生 / リピート再生と TIMER PLAY との組み合わせで、様々な再生を設定することができます。(☞ 36 ページ)

再生タイマーを解除する

48 ページの手順 1、2 のあと、[キャンセル] を押します。

レシーバーの表示

TIMER OFF

お知らせ

・ タイマーが解除されても、設定内容は残ります。

再生タイマーを同じ内容で再設定する

48 ページの手順 1、2 のあと、[決定] を押します。その後、[⏻/I オーディオ] を押して、レシーバーの電源を「切」にします。

お知らせ

・ レシーバーの電源コードを抜いたり、停電があったときは、時計と再生タイマーの設定が消えることがあります。このようなときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマーの設定内容を確認する

48 ページの手順 1、2、3 のあと、[SET] をくり返し押します。

・ 途中でやめたいときは、[時計 / タイマー] を押します。

再生タイマーの設定内容を変更する

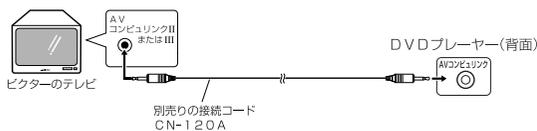
もう一度 48 ページの手順 1 からやり直してください。

AV コンピュリンクの活用

接続するテレビがビクター製で、AV コンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、別売りの接続コード (CN-120A) で本機の DVD プレーヤーの AV コンピュリンク端子とつなぐと、一つの機器の操作に連動して他の機器を動作させることができます。

接続と設定

お知らせ

- 接続するテレビによっては端子名が「AV COMPULINK 端子」と表記されているものもありますが、同様の端子です。
- AV コンピュリンクモードの設定は、「その他設定画面」(☞ 44 ページ) で操作します。
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。

テレビの入力端子	ＡＶコンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	ＤＶＤ ２
ビデオ３のとき	ＤＶＤ １

- テレビのビデオ 3(DVD) 入力に接続してください。ただし、ビデオ 3 が DV/ ムービー入力のときは、この端子には AV コンピュリンクが働きません。

操作方法

1 テレビの主電源スイッチを入れる

2 リモコンモード切換スイッチの位置を [DVD] にする

3 [▲ 開 / 閉] を押す

・ディスクトレイが出ます。

4 ディスクを置く

5 ►(再生) または [DVD] を押す

- テレビの電源が入ります。
- テレビの入力がビデオ1またはビデオ3(DVD) に切り換わります。

再生できるディスク

次のディスクが再生できます。

ディスクの種類	マーク（ロゴ）
DVD ビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO
DVD オーディオ	DVD AUDIO/VIDEO / DVD AUDIO
VCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / Video CD
SVCD	COMPACT disc SUPER VIDEO / VIDEO CD
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
DivX	DivX VIDEO / HOME THEATER DivX CERTIFIED VIDEO

次のディスクも再生できます。

	CD-R/ CD-RW	DVD-R[1]	DVD-RW
CD フォーマット	○	—	—
VCD/SVCD フォーマット	○	—	—
MP3/WMA/ JPEG フォーマット	○	○[2]	○[2]
DVD ビデオ フォーマット	—	○	○
DVD VR フォーマット	—	○	○
DivX フォーマット	○	○[2]	○[2]
ASF フォーマット	○	○[2]	○[2]
MPEG1/ MPEG2 フォーマット	○	○[2]	○[2]

・ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。

1：マルチボーダーで記録された DVD-R も再生可能です。(デュアルレイヤーディスクを除く。)
2：UDF ブリッジで記録されたディスクのみ再生可能です。

ディスクの、傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことがあります。
DVD ビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた +R/+RW ディスクが再生できます。本体表示窓には「DVD」と表示します。

次のディスクは音声のみ再生できます。
MIX-MODE CD　CD-G
CD-EXTRA　CD TEXT

DVD ビデオのリージョン番号

本機のリージョン番号は「2」です。「2(2 を含む)」または「ALL」と表示された DVD ビデオのディスクに限り再生できます。

例：

リージョン番号とは、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

・DVD ビデオ、DVD オーディオ、VCD、SVCD、DivX ディスクのなかには、この取扱説明書での説明と異なる操作方法のものもあります。これはディスク制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。

CD-R/CD-RW および DVD-R/DVD-RW ディスクについて

・ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
・ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
・CD テキストの表示には対応しておりません。
・左記以外のフォーマットで記録したことのあるCD-RW、DVD-RW ディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスクについて

再生できる MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスクおよびファイル
・ISO9660フォーマットで記録されているCD(パケットライト (UDF フォーマット) 形式で記録された CD は不可)。
・マルチセッションで記録された CD も再生可能。
・「.mp3」、「.wma」、「.jpg」、「.jpeg」、「.asf」、「.divx」、「.div」、「.avi」、「.mpg」または「.mpeg」の拡張子がついたファイル(大文字小文字が混在した拡張子も可)。

(次ページへつづく)

MP3/WMA/JPEG/ASF ディスクおよびファイルについて

・ ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
・ ディスクに記録されているグループやトラック (ファイル) の数によって、読み取り時間が異なります。
・ MP3/WMA/JPEG/ASF ファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック / ファイル名が正しく表示されません。
・ ファイルコントロール画面に表示されるトラック / グループの順序、およびファイル / グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル / フォルダの順序と異なることがあります。
・ 市販の MP3/WMA ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。
・ MP3/WMA/JPEG/ASF ディスクは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。
・ MP3/WMA ファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
・ MP3i および MP3PRO には対応していません。
・ 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。モノクロのJPEGファイルは再生できません。
・ 本機では DCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます (デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)。
・ パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
・ MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画 (TIFF など) および音声付き画像は再生できません。
・ JPEG ファイルの解像度は「640 ピクセル× 480 ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192 ピクセル× 7680 ピクセル」を超える画像は表示できません。
・ ASF ファイルは、最大ビットレート 384kbps、音声コーダ・デコーダ G.726 で作成されたディスクを推奨します。
・ 再生画像の最大解像度は「352 ピクセル× 288 ピクセル」(CIF) です。

DivX ディスクおよびファイルについて

・ DivX 5. 以降、DivX 4. 以降および DivX 3.11. を推奨します。
・ DivX ファイルは、「720 ピクセル× 480 ピクセル」以下 (30fps) および「720 ピクセル× 576 ピクセル」以下 (25fps) の解像度で作成されたディスクを推奨します。
・ オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2 またはMPEG Audio Layer-3(MP3) 規格に合致している必要があります。
・ GMC(Global Motion Compression) はサポートしていません。
・ インターレース方式でエンコードされたファイルは正しく再生されないことがあります。
・ DivX ディスクは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。

MPEG1/MPEG2 ディスクおよびファイルについて

・ ストリーム構造は MPEG システムストリーム規格または MPEG プログラムストリーム規格に合致している必要があります。
・ 最大解像度は「720 ピクセル× 576 ピクセル」(25fps) および「720 ピクセル× 480 ピクセル」(30fps) をお勧めします。
・「352×576」「480×576」「352×288」(25fps) および「352 × 480」「480 × 480」「352 × 240」(30fps) の解像度で作成されたディスクを推奨します。
・ プロファイルとレベルは、MP@ML(Main Profile at Main Level)、SP@ML(Simple Profile at Main Level) または MP@LL(Main Profile at Low Level) である必要があります。
・ オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2/ MPEG2 Audio Layer-2 規格に合致している必要があります。

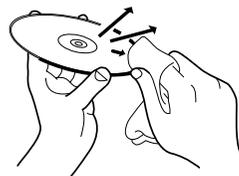
マルチチャンネル音声について

本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の 2 つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC 以外のテレビ方式 (PAL 等) 用の DVD/ ビデオ CD も、NTSC 方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

ディスクのクリーニング

・ ディスクの信号面についた指紋やほこりは、柔らかい乾いた布で中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

・ アナログレコード用のクリーナーやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

> ・ DVD ビデオ /DVD オーディオ、VCD および、SVCD は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
> ・ 本機では、CD 規格 (CD-DA) に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
> CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、C D 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

再生できないディスク

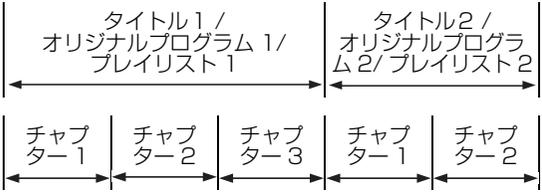
- 次のディスクは再生できません。
  誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
  DVD-ROM(MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2フォーマットは除く)、DVD-RAM、CD-ROM、CD-I (CD-I Ready)、Photo CD、SACD
- 破損したディスク、特殊な形状 (直径 12 または 8 センチの円形以外) のディスクも再生できません。

ディスクの構成

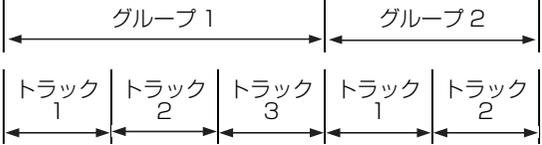
DVD ビデオ /DVD VR

DVD ビデオは、「タイトル」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

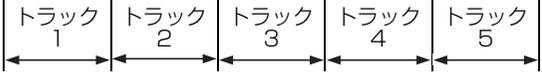
DVD VR は、「オリジナルプログラム」または「プレイリスト」と呼ばれる大きな単位と、オリジナルプログラム / プレイリストに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

タイトル 1 / オリジナルプログラム 1/ プレイリスト 1
タイトル 2 / オリジナルプログラム 2/ プレイリスト 2
チャプター 1　チャプター 2　チャプター 3　チャプター 1　チャプター 2

DVD オーディオ

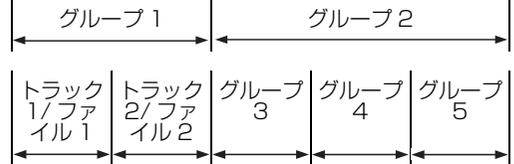
DVD オーディオは、「グループ」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「トラック」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

DVD オーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれる特別なグループを収録したものがあり、再生にはパスワードが必要です。(☞ 39 ページ)

VCD/SVCD/CD

VCD/SVCD/CD は、「トラック」と呼ばれる単位で構成されています。

通常それぞれのトラックに番号がついています。(VCD/SVCD/CD には、トラックが「インデックス」で区切られたものがあります。)

MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスク

MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ディスクには、静止画像がトラック / ファイルとして記録されています。トラック / ファイルは通常フォルダーにまとめられています。フォルダーはまた別のフォルダに含むことができ、フォルダ階層を構成します。

本機ではディスクに記録されたフォルダ階層を「グループ」として管理します。

本機はディスク 1 枚あたり 4000 のトラック / ファイルを認識します。また、グループ 1 つあたり 150 のトラック / ファイル、ディスク 1 枚あたり 99 のグループを認識します。150 を超えるファイル / トラックおよび 99 を超えるグループは認識されず、再生できません。

- MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ファイル以外のファイルがフォルダに含まれているときは、これらも総ファイル数に計上されます。

故障かな？と思う前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼する前に以下の点検をしてください。
ＤＶＤ プレーヤーについての項目は、XV-EXA10 について説明しています。これ以外の ＤＶＤ プレーヤーをお使いの場合は、その製品の取り扱い説明書に従ってください。

電源について

■ 電源が入らない
・DVDプレーヤーまたはレシーバーの電源コードがコンセントから抜けている。
→ 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。(☞ 18 ページ)

操作について

■ 各ボタンの操作ができない
・ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。

■ リモコンが働かない
・乾電池が消耗している。
→ 乾電池を交換してください。(☞ 10ページ)
・リモコンモード切換スイッチを誤った位置にしている。
→ リモコンのほとんどのボタンは特定のリモコンモードに割り当てられています。各機能の説明を参照して、リモコンモード切換スイッチを正しい位置にしてください。

■ 再生できない
・DVD ビデオの場合
→ ディスクのリージョン番号を確認してください。(「2(2 を含む)」または「ALL」以外のディスクは再生できません。)(☞ 51 ページ)
・表示窓に「PLAYABLE Err」と表示された。本機の DVD プレーヤーで再生できるディスクではありません。
→ ディスクを確認する。(☞ 51･52 ページ)

■ MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2 ファイルが再生できない
・ディスクに異なる種類のファイルが複数記録されている (MP3/WMA/JPEG/ASF/DivX/MPEG1/MPEG2)。「ファイルタイプ」で選んだファイルのみが再生できます。(☞ 44 ページ)

映像について

■ 映像が出ない
・ビデオコードが正しく接続されていない。
→ ☞ 17 ページ
・D2 映像出力端子と S1/S2 映像出力端子を両方同時につないでいる。
→ どちらか片方だけにする。(☞ 17･18ページ)

■ 映像が乱れる
・本機の DVD プレーヤーとテレビの間に、ビデオデッキを接続している。
→ 本機のDVDプレーヤーとテレビを直接接続する。(☞ 17 ページ)

■ 画面サイズがおかしい
・画面サイズの設定が間違っている。
→「TV タイプ」をお使いのテレビに合わせる。(☞ 44 ページ)

■ テレビ画面が暗くなる
・「スクリーンセーバー」が「オン」に設定されている。
→ いずれかのボタンを押す。(☞ 44 ページ)

音声について

■ 音声が出ない
・スピーカーコードが正しく接続されていない。
→ ☞ 14 ページ
・レシーバーと DVD プレーヤーが正しく接続されていない。
→ ☞ 15 ページ
・消音機能が働いている。
→ ☞ 21 ページ
・表示窓に「NO AUDIO」と表示された。
・不法なコピーディスクの可能性があります。
→ ディスクをお買い上げになった店で確認してください。

■ 音がひずむ
・音量を上げすぎている。
→ 音量を下げる。(☞ 21 ページ)

■ サブウーハーから音が出ない
・「S. WOOFER OFF」になっている。
→ [サブウーハーアウト] をくり返し押して「S. WOOFER ON」にする。(☞ 16 ページ)

ラジオについて

■ 受信中に雑音が入る / 受信できない
・アンテナが正しく接続されていない。
→ アンテナを正しく接続する。(☞ 12・13 ページ)

その他

■ 音声 / 字幕言語の切り換えができない

・ディスクに複数の言語が収録されていない。
→ 複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。(☞ 37 ページ)

■ 字幕が出ない

・ディスクに字幕が入っていない。
→ 字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません。

・字幕言語が「オフ」になっている。
→ 言語を選ぶ。(☞ 43 ページ)

・A-B リピートの A ポイント、B ポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。

■ ディスクが取り出せない

・チャイルドロックが設定されている。
→ ☞ 33 ページ

■ 表示窓に「LR ONLY」と表示された (DVD オーディオのとき)

・正常な動作です。マルチチャンネル音声で、ダウンミックスが禁止されているトラックを再生しているため、左右の音声がそのまま出力されています。

■ ツィーターから音が出ない

・レシーバーで「Single Amp」が選ばれている。
→「Bi-Amp」を選ぶ。(☞ 16 ページ)

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

お願い

本機の故障または不測の事態により、ディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

言語コード一覧

コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	MK	マケドニア語
AB	アブハジア語	ML	マラヤーラム語
AF	アフリカーンス語	MN	モンゴル語
AM	アムハラ語	MO	モルダビア語
AR	アラビア語	MR	マラータ語
AS	アッサム語	MS	マライ (マレー) 語
AY	アイマラ語	MT	マルタ語
AZ	アゼルバイジャン語	MY	ミャンマー語
BA	バシキール語	NA	ナウル語
BE	ベラルーシ語	NE	ネパール語
BG	ブルガリア語	NL	オランダ語
BH	ビハーリー語	NO	ノルウェー語
BI	ビスラマ語	OC	プロバンス語
BN	ベンガル語、バングラ語	OM	(アフォン) オロモ語
BO	チベット語	OR	オリヤー語
BR	ブルトン語	PA	パンジャブ語
CA	カタロニア語	PL	ポーランド語
CO	コルシカ語	PS	パシュトー語
CS	チェコ語	PT	ポルトガル語
CY	ウェールズ語	QU	ケチュア語
DA	デンマーク語	RM	ラエティーロマン語
DZ	ブータン語	RN	キルンディ語
EL	ギリシャ語	RO	ルーマニア語
EO	エスペラント語	RU	ロシア語
ET	エストニア語	RW	キニヤルワンダ語
EU	バスク語	SA	サンスクリット語
FA	ペルシャ語	SD	シンド語
FI	フィンランド語	SG	サンド語
FJ	フィジー語	SH	セルボアクロアチア語
FO	フェロー語	SI	シンハラ語
FY	フリジア語	SK	スロバキア語
GA	アイルランド語	SL	スロベニア語
GD	スコットランドゲール語	SM	サモア語
GL	ガルシア語	SN	ショナ語
GN	グアラニ語	SO	ソマリ語
GU	グジャラード語	SQ	アルバニア語
HA	ハウサ語	SR	セルビア語
HI	ヒンディー語	SS	シスワティ語
HR	クロアチア語	ST	セストゥ語
HU	ハンガリー語	SU	スンダ語
HY	アルメニア語	SV	スウェーデン語
IA	国際語	SW	スワヒリ語
IE	国際語	TA	タミール語
IK	イヌピック語	TE	テルグ語
IN	インドネシア語	TG	タジク語
IS	アイスランド語	TH	タイ語
IW	ヘブライ語	TI	ティグリニャ語
JI	イディッシュ語	TK	トゥルクメン語
JW	ジャワ語	TL	タガログ語
KA	グルジア語	TN	セツワナ語
KK	カザフ語	TO	トンガ語
KL	グリーンランド語	TR	トルコ語
KM	カンボジア語	TS	ツォンガ語
KN	カンナダ語	TT	タタール語
KO	韓国 (朝鮮) 語	TW	トウィ語
KS	カシミール語	UK	ウクライナ語
KU	クルド語	UR	ウルドゥー語
KY	キルギス語	UZ	ウズベク語
LA	ラテン語	VI	ベトナム語
LN	リンガラ語	VO	ヴォラピュク語
LO	ラオス語	WO	ウォロフ語
LT	リトアニア語	XH	コーサ語
LV	ラトビア語、レット語	YO	ヨルバ語
MG	マダガスカル語	ZU	ズール語
MI	マオリ語		

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（57 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

54 ～55 ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	コンパクトコンポーネントシステム
型　　名	EX-A10、XV-EXA10
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.S.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1005

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

レシーバー (RX-EXA10)

チューナー部

FM 周波数： 76.00 MHz - 108.00 MHz
AM 周波数： 531 kHz - 1629 kHz

アンプ部

最大出力 (ツィーター)： 20 W + 20 W
6 Ω (10 kHz、THD 10 %)
最大出力 (ウーハー)： 30 W +30 W
6 Ω (1 kHz、THD 10 %)

接続端子

- シンクロ端子 x 1 (XV-EXA10 接続用)
- 光デジタル入力端子 x 1 (XV-EXA10 接続用)
  –21 dBm ～ –15 dBm
- 音声入力端子 (2) x 1 (XV-EXA10 接続用)
  500 mV/50 k Ω
- 音声出力端子 (2) x 4
  インピーダンス：6 Ω
- FM アンテナ端子 x 1
- AM アンテナ端子 x 1
- 音声出力サブウーハー端子 x 1
  500 mVrms/10 k Ω
- 光デジタル入力端子 x 1 (市販機器接続用)
  –21 dBm ～ –15 dBm
- 音声入力端子 (2) x 1 (市販機器接続用)
  レベル 1：500 mV/50 k Ω
  レベル2 ：250 mV/50 k Ω
- 音声出力ヘッドホン端子 x 1
  11 mW/32 Ω (インピーダンス：16 Ω ～ 1 k Ω)

総合

電源電圧： AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力： 50 W(使用中)
0.8 W(待機中)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)： 245 mm x 80 mm x 297 mm
質量 (1 機あたり)： 2.7 kg

スピーカー (SP-EXA10)

形式： 2 ウェイバスレフ型
防磁型
ツィーター： 2 cm ウッドコーン
ウーハー： 11 cm ウッドコーン
最大入力 (ツィーター)： 20 W
最大入力 (ウーハー)：30 W
インピーダンス： 6 Ω
出力音圧レベル： 82 dB/W m
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)： 143 mm x 257 mm x 243 mm
質量 (1 機あたり)： 3.5 kg

DVD プレーヤー (XV-EXA10)

再生可能ディスク

DVD ビデオ /DVD オーディオ
VCD/SVCD/CD
CD-R/RW(VCD/SVCD/CD/MP3/WMA/JPEG/DivX/ASF/MPEG1/MPEG2 フォーマット)
DVD-R(MP3/WMA/JPEG/DVD ビデオ /DVD VR [CPRM]/DivX/ASF/MPEG1/MPEG2 フォーマット)
DVD-RW(MP3/WMA/JPEG/DVD ビデオ /DVD VR [CPRM]/DivX/ASF/MPEG1/MPEG2 フォーマット)

接続端子

- シンクロ端子 x 1 (RX-EXA10 接続用)
- 光デジタル出力端子 x 1 (RX-EXA10 接続用)
  –21 dBm ～ –15 dBm
- 音声出力端子 (2) x 1 (RX-EXA10 接続用)
- 映像出力端子 x 1
  1.0 V (p-p)/75 Ω、同期負
- S1/S2 映像出力端子 x 1
  Y 出力：1.0 V (p-p)/75 Ω、同期負
  C 出力：0.286 V (p-p)/75 Ω
- D2 映像出力端子 x 1
  Y 出力：1.0 V (p-p)/75 Ω
  CB/CR 出力：0.7 V (p-p)/75 Ω
- AV コンピュリンク端子 x 1

総合

電源電圧： AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力： 9 W(使用中)
0.5 W(待機中)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)： 245 mm x 80 mm x 270 mm
質量 (1 機あたり)： 2.2 kg

- 本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索引

別売りのオプション品

・オーディオコード	：CN-510E
・光デジタルコード	：XN-110SA
・S ビデオコード	：VC-S110E
・D 端子用ビデオコード	：VX-DS110
・AV コンピュリンク用コード	：CN-120A
・DVD レンズクリーナー	：CL-DVDLW/CL-DVDLA
・アンテナコネクター	：VZ-71A（300 Ω /75 Ω 対応）
・FM フィーダーアンテナ	：CN-511A（300 Ω 対応） （アンテナコネクターと一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

http://www.victor.co.jp/reg/audio/

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
57ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**56**ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1005SKMMODJEM